ハードディスクムービー

型名 GZ-MG740/730/530

# 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

「安全上のご注意」（P.8）および、「使用上のご注意」（P.10）は、必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

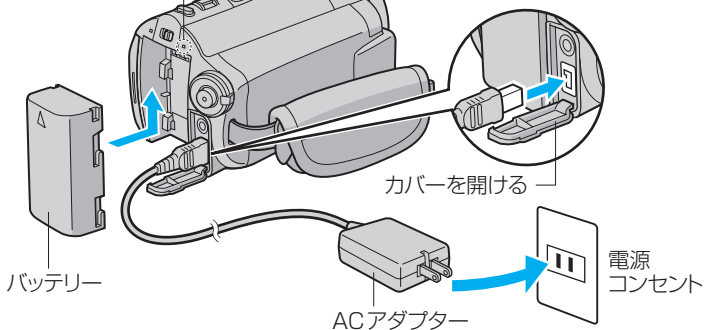
HDD microSDHC DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

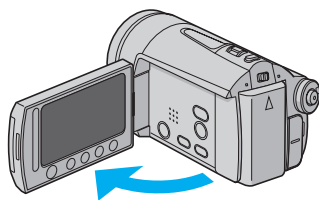
写真はGZ-MG740です。

ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の提供サービスなどをご利用いただけます。
http://www.victor.co.jp/reg/

# かんたん撮影ガイド

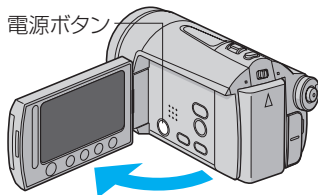
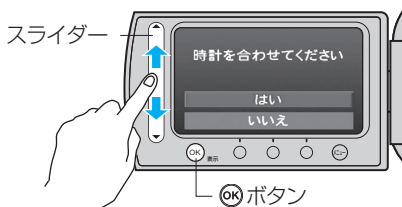
## 撮影前に充電しましょう

## 画面を開けると電源ON！

撮影が終わったら、画面を閉じます。

- **バッテリーは充電されていません。**
  まずは充電してからお使いください。

- **必ずビクター製のバッテリーをお使いください。**
  ビクター製以外のバッテリーをご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。

撮影の前に、バッテリーを充電し、時計を合わせます。
続いて、次のページで動画を撮影しましょう。

# 時計を合わせましょう

## 1 画面を開きます

## 2 10秒以内にスライダーを指でなぞって「はい」を選び、OKをタッチします

- メッセージが消えてしまったら、電源ボタンを2秒以上押して電源を切り、再び電源ボタンを2秒以上押して表示します。
- 爪や手袋などでは操作できません。

## 3 スライダーを指でなぞって「年」を合わせ、OKをタッチします

- 同様に、月日と時刻を合わせます。

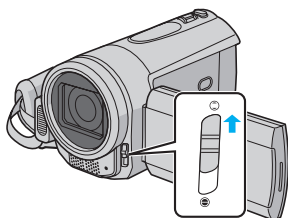
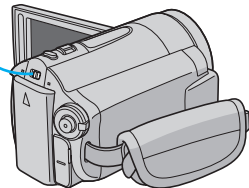
■時計を合わせ直すとき ➡(P.68)

お知らせ ●時計を設定すると、「時計を合わせてください」のメッセージは表示されません。

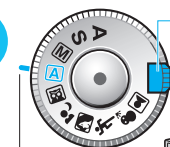
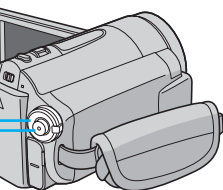
# 動画を撮ろう!

大切な撮影をするまえに、試し撮りをすることをおすすめします。

**まずは、簡単な「オート」で撮影しましょう。**
すべてオートで設定され、面倒な操作は必要ありません。

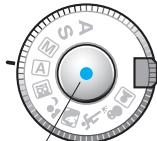
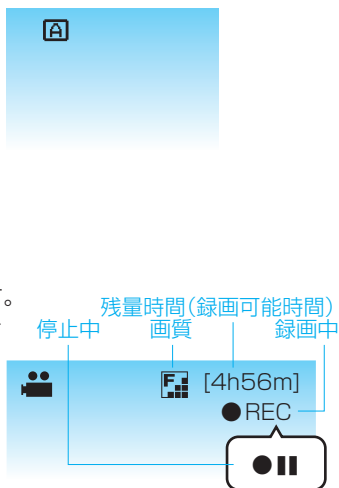
## 1 レンズカバーを開けます

## 2 スライドして動画(🎥)を選びます

## 3 押したまま回し、[A]に合わせます

•オート撮影のマークが表示されます。

線に
合わせる

## 4 押して撮影します

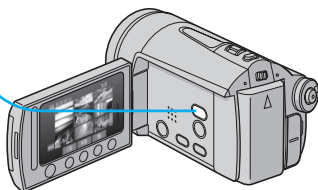
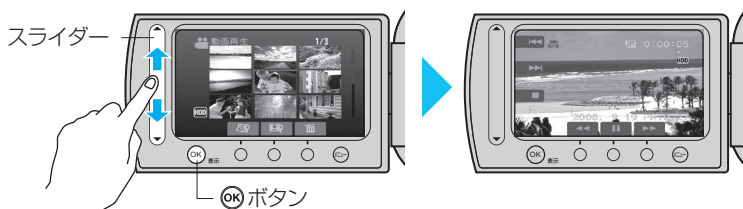
•押すと、撮影を始めます。
•もう一度押すと、撮影を終えます。

押す

残量時間(録画可能時間)
停止中
画質
録画中

# 動画を見よう!

**1** 切換 再生/撮影

## 押して、再生画面を表示します

•押す度に、撮影と再生に切り替わります。

## 2 スライダーを指でなぞって見たい動画を選び、OKをタッチします

■早送り、早戻しなどをするとき ➡(P.30)

■テレビで見るとき ➡(P.39)

**重要!**

- **画面を操作するとき**

  ➡画面周囲のボタンやスライダーに指でタッチします
  
  •爪や手袋などでは操作できません。
  
  •画面内の表示に触れても動作しません。

- **撮影したら、こまめに保存しましょう!**

  ●DVDに保存するとき➡(P.46)
  
  ●ビデオ機器にダビングするとき➡(P.56)
  
  ●作成したDVDを再生して確認するとき➡(P.49)

# もくじ

■本書のアイコン
🎥は動画モードの、📷は静止画モードの機能をあらわします。

## 確認する



## 準備する

まずは!



## 撮影する／再生する



## 編集する

## 保存する　選べる!



この取扱説明書を読むことで、エブリオを楽しむことができます。
さらに使いこなしたいときは、付属のCD-ROM内の「ガイドブック」をお読みください。
「ガイドブック」(PDF)を見るにはAdobeReaderが必要です。
AdobeReaderは、Adobe社のホームページからダウンロードできます。
http : //www.adobe.co.jp/

## パソコンとつなぐ

### Windowsの場合



### 共通



### Macintoshの場合



## 困ったとき

# 安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

## 絵表示の説明

| 注意、警告が必要なこと | | 禁止されていること | | | | 実行して欲しいこと |
|---|---|---|---|---|---|---|
|  一般的注意 | 感電注意 |  禁止 |  分解禁止 |  ぬれ手禁止 | 水場での使用禁止 | 一般的指示 |

## 警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

### バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス(+)とマイナス(−)のまちがい
- 金属物(ネックレス、ヘアピンなど)といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温(60℃以上)になる場所に置く

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。

分解禁止

### 分解・改造をしない

・火災や感電の原因になります。

一般的指示

### ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

禁止

### 付属のACアダプター以外は使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。

一般的注意

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

### 電源コードを傷つけない

・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

### 電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

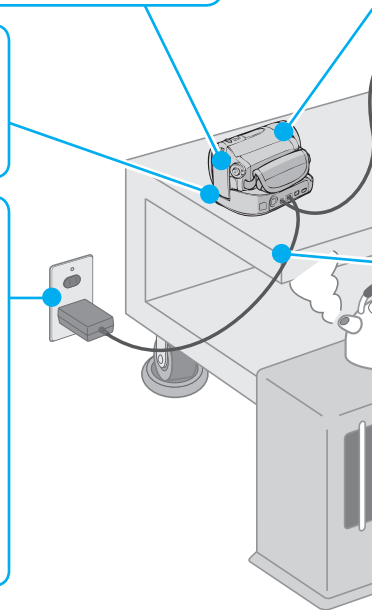
ぬれ手禁止

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。

感電注意

### 雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。

## 万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

**バッテリーをはずす**
**電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

禁止

**内部に物を入れない**
・microSDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

**レンズを直射日光などに向けない**
・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止

**乗り物を運転中に使用しない**
・交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

**雨や雪が降る中やふろ場などで使用しない**
・内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

## ⚠ 注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

**5年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください**
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

一般的指示

**病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う**
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。

一般的指示

**移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす**
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

一般的指示

**長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす**
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

禁止

**湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない**
・火災や感電、故障の原因になります。

禁止

**熱源の近くでは、使用しない**
・火災や故障の原因になります。

# 使用上のご注意

## 本機について

●精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。
ハードディスク（HDD）が認識されなくなったり、記録や再生ができなくなります。

●本機とリモコンを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
高温になると、内部の電池が破裂することがあります。

●本機に内蔵されたハードディスク（HDD）と、市販のmicroSDカードに記録できます。

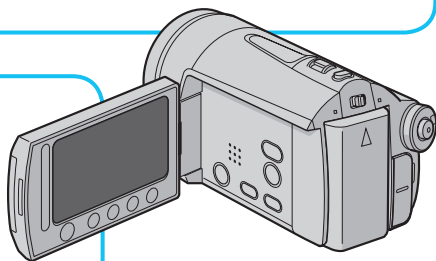
●撮影したデータはパソコンやDVDに保存してください。
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。

●SD-VIDEO規格に準拠したMPEG2方式で動画を記録・再生します。
DV方式やその他の方式のビデオとは、互換性がありません。

●気圧の低い場所（海抜3000m以上）では使用できません。

●指定された動作環境でご使用ください。（P.80）

## 液晶画面について

●表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり、割れる場合があります。

## ハードディスクについて

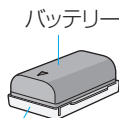
●振動や大きな音がする場所で使用しないでください。

●本機を動かすと、落下検出機能が働いて電源が切れることがあります。

## バッテリー(充電式電池)について

- 正常な動作のために必ずビクター製品をお使いください。
- ご購入時は充電されていません。(P.2)
- 低温(10℃以下)での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。(カイロなどには直接ふれさせない)
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 長期間使わないときは…
  ①劣化を防ぐため、使い切ってから取りはずします。
  (撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ)
  ②半年に1回程度は充電し、使い切って保管します。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約15～25℃の乾燥したところで保管してください。



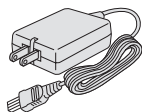
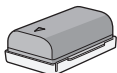
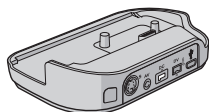
- バッテリーを処分する際はP.55をご覧ください。

## ■カメラやmicroSDカードを廃棄/譲渡するときは、データの流出にご注意ください

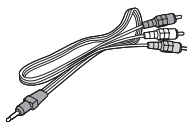
- カメラやパソコンによる「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。市販のデータ復元(修復)ソフトなどで、データを復元できる場合があります。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、カメラ(ハードディスク)やmicroSDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
  この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

## ■イラスト・画面について

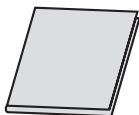
- 本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

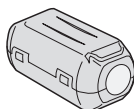
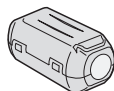
# 付属品／別売アクセサリー

万が一、不足品や不良品がございましたら、お買い上げの販売店、
または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

ACアダプター
AP-V14

バッテリーパック
BN-VF808

エブリオドック
CU-VC6

ワイヤレスリモコン
RM-V751

専用AVコード

専用USBケーブル
Aタイプ－ミニBタイプ

CD-ROM

取扱説明書
（本書）

大（1個）
USBケーブル用

小（1個）
ACアダプター用

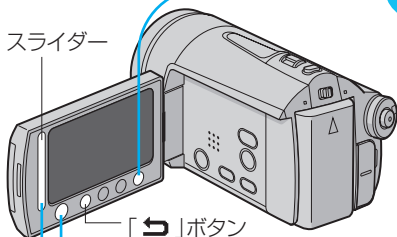
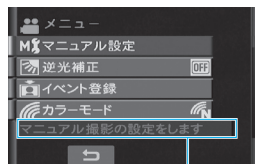
フェライトコア（P.22）

## ■別売アクセサリー（詳しくはカタログをご覧ください。）

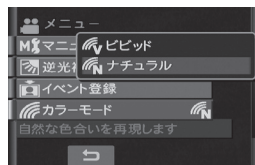
| | | | |
|---|---|---|---|
| バッテリーパック | BN-VF808 | バッテリーキット | VU-V840KIT※ |
| バッテリーパック | BN-VF815 | バッテリーキット | VU-V856KIT※ |
| バッテリーパック | BN-VF823 | DCコード | VC-VBN800 |
| バッテリーチャージャー | AA-VF8 | DVDライター | CU-VD3 |

※ VU-V840KITとVU-V856KITは、バッテリーを本機に直接取り付けずに、付属のポーチに入れたバッテリーを、別売のDCコード（VC-VBN800）で本機と接続して使います。

# メニューの使いかた

1 メニューを表示する

選択した項目の説明が表示されます

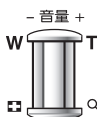
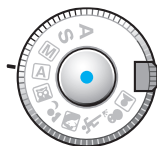
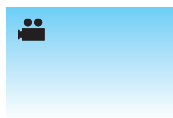
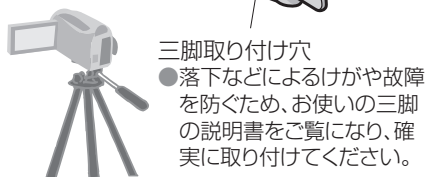
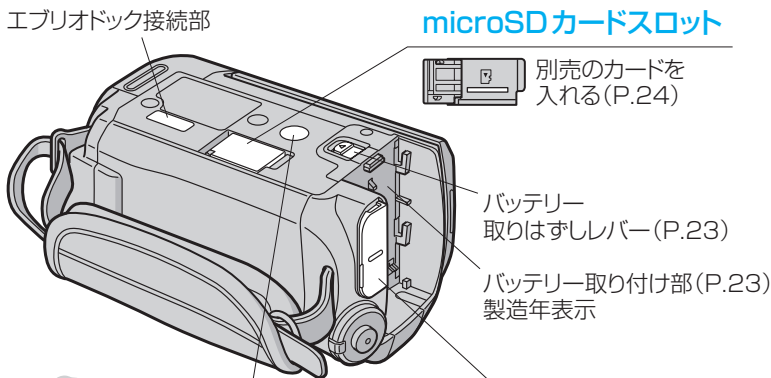
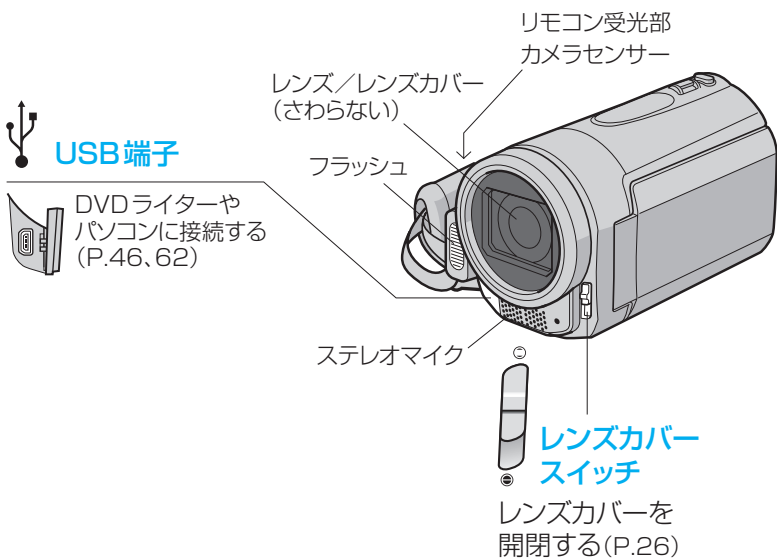
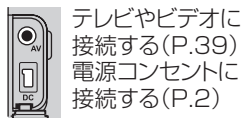
2 スライダーでメニューを選び、OK をタッチする

3 スライダーで内容を選び、OK をタッチする

■設定を終了するとき
➡ メニュー をタッチする

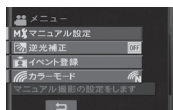
■一つ前の画面に戻るとき
➡「 」をタッチする

■すべての設定をお買い上げ時に戻すとき
➡メニューの「基本設定」の「工場出荷」

# 各部の名前とはたらき

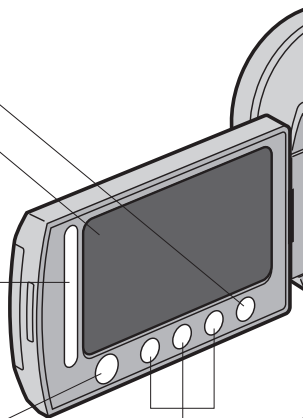
静止画
静止画ボタン
静止画を撮影する
(P.29)
－ 音量 ＋
W
T
ズーム／音量レバー
電源／充電ランプ
電源「入」で点灯、
充電中に点滅、
充電完了で消灯
撮影中
広く／大きく撮る(P.28)
〈W側〉
〈T側〉
動画再生中
音量を変える(P.30)
静止画再生中／動画停止中
一覧( )／全画面( )表示
を切り替える
グリップ
ベルト
(P.22)
モードスイッチ
／ モードを切り替える
(P.26)
〈動画モード〉
〈静止画モード〉
録画ボタン
動画を撮影する(P.28)
シーンダイヤル
オート撮影／マニュアル撮
影を切り換えたり(P.26)、
場面や状況に合わせて調
節する(P.34)
アクセスランプ
記録中や再生中に点灯
または点滅

●落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧になり、確実に取り付けてください。

# 各部の名前とはたらき

## メニューボタン

設定を変える(P.13)

## 画面

開閉すると、電源を入/切できる
(P.26)
自分を撮るときは、回転させる

## スライダー

メニューやインデックス画面で、
項目や画像を選択する
ファンクションボタンとしても使う
(P.19)

## OK／表示ボタン

選択した項目や画像を決定する
画面表示を消したり、表示させたりできる(一部の表示を除く)

ファンクションボタン
(P.19)

## ダイレクトDVD／タイトルボタン

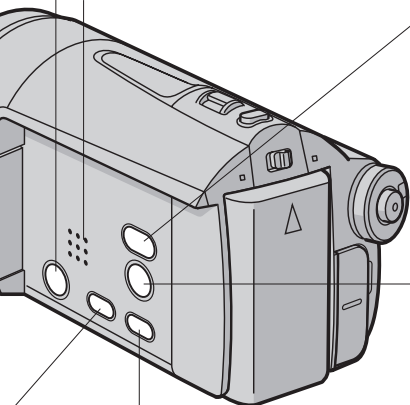
再生

タイトル付きのプレイリストをつくる(P.40)

DVDライター(別売)接続中

動画をDVDに保存する(P.47)

Windows接続中

パソコンからDVDにコピーする(P.63)

**切換ボタン**

撮影/再生を切り換える(P.26)

〈撮影 P.28〉

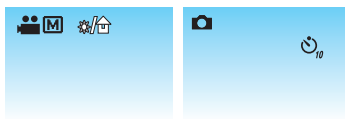
〈再生 P.30〉

**屋内/屋外モード(NDフィルター)/セルフタイマーボタン**

**動画**

光量を減らす(屋内/屋外モード)(P.38)

**静止画**

10秒後または2秒後に撮影する(P.38)

**ダイレクトバックアップ/インフォボタン**

**撮影**

残量情報を表示する(P.29)
動画の画質を変更する(残量時間が変化する)

〈残量時間〉

〈充電状況〉

**再生**

撮影日などのファイル情報を見る(P.30)

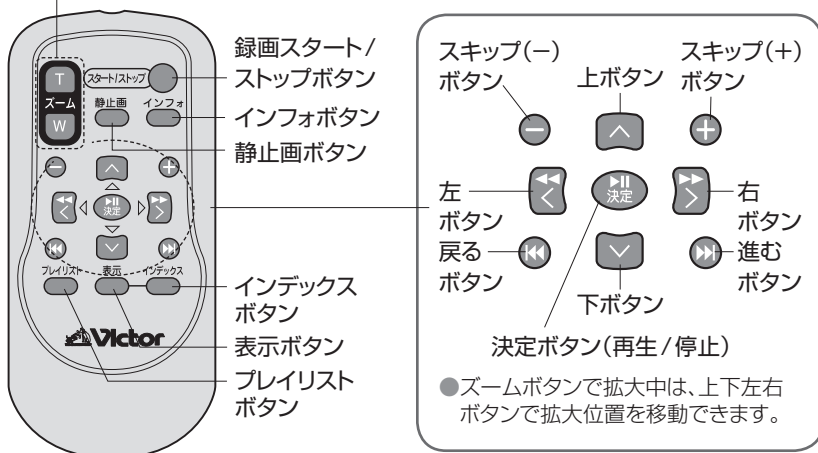
〈ファイル情報〉

〈ヒストグラム〉(静止画のみ)

**Windows接続中**

パソコンに保存(バックアップ)する(P.63)

# 各部の名前とはたらき

## リモコン

●リモコンは受光部(P.15)に正面から向け、約5m以内でご使用ください。

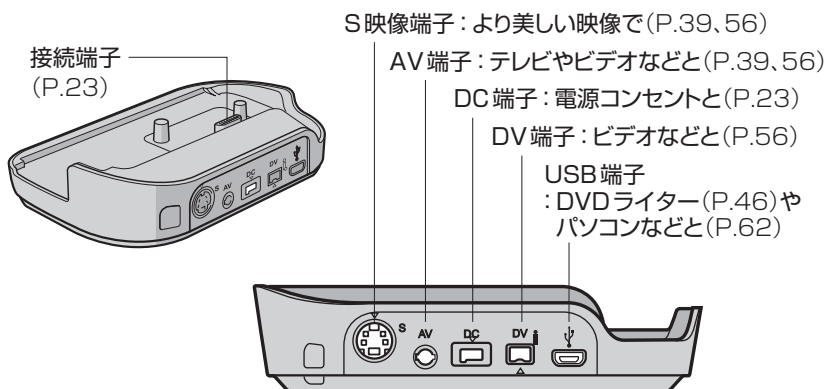
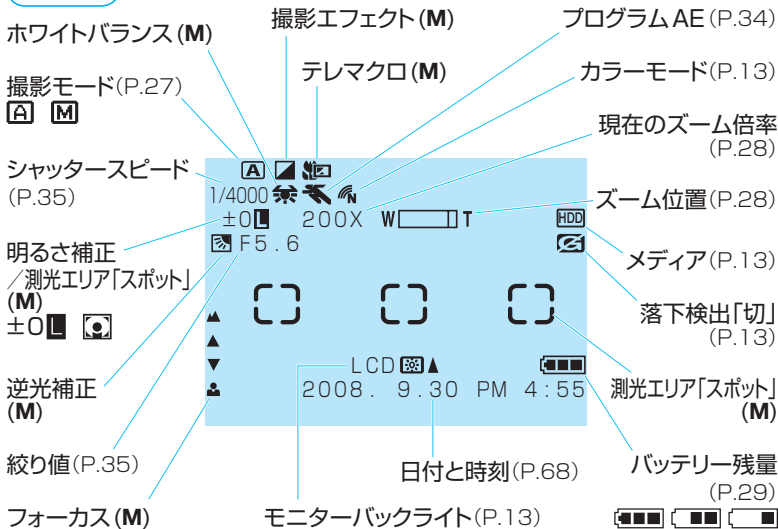
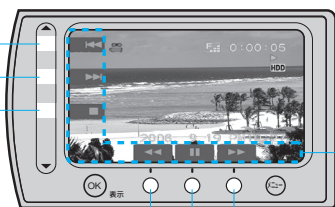
## エブリオドック

# 画面の見かた

## 共通

撮影時

ホワイトバランス(M)
撮影エフェクト(M)
プログラムAE(P.34)
テレマクロ(M)
カラーモード(P.13)
撮影モード(P.27)
現在のズーム倍率 (P.28)
シャッタースピード (P.35)
ズーム位置(P.28)
メディア(P.13)
明るさ補正／測光エリア「スポット」(M)
±0
落下検出「切」(P.13)
逆光補正(M)
測光エリア「スポット」(M)
絞り値(P.35)
日付と時刻(P.68)
バッテリー残量 (P.29)
フォーカス(M)
モニターバックライト(P.13)

1/4000
±0
200X W T
F5.6
LCD
2008. 9.30 PM 4:55

＊Mマークのある機能は、マニュアル撮影時にメニューで使うことができます。(P.13)

■ファンクションボタンの役割が表示されることがあります

ファンクションボタンの役割

ファンクションボタン(操作するには、指で軽く触れます)
＊ファンクションボタンに軽く触れることを、本書では「タッチする」と表記します。

# 画面の見かた

## 動画のとき

### 撮影時

屋内／屋外モード
（P.38）

アナログ入力（P.13）
レビュー（P.28）
REVIEW

動画画質（P.28、29）

残量時間
（P.29）

動画モード（P.27）

[5h56m]
9：55：01 ●REC

動作モード
● REC 録画中
●II 停止中

シーンカウンタ

手ぶれ補正「切」
（P.13）

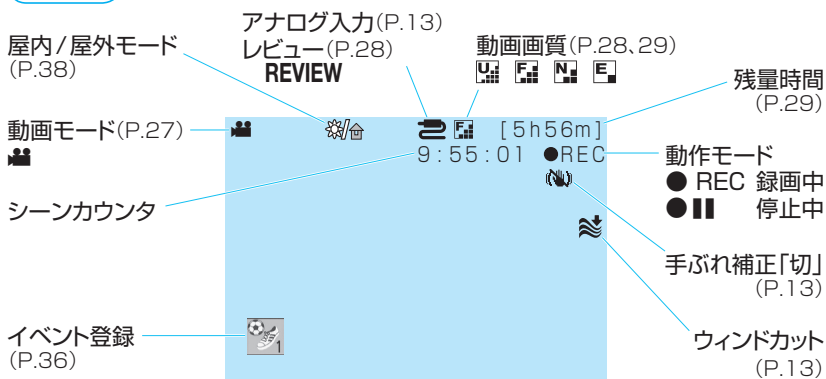
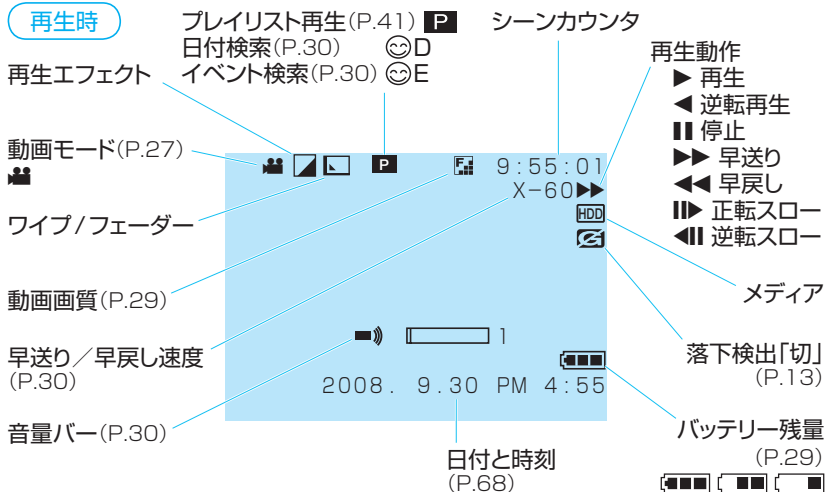
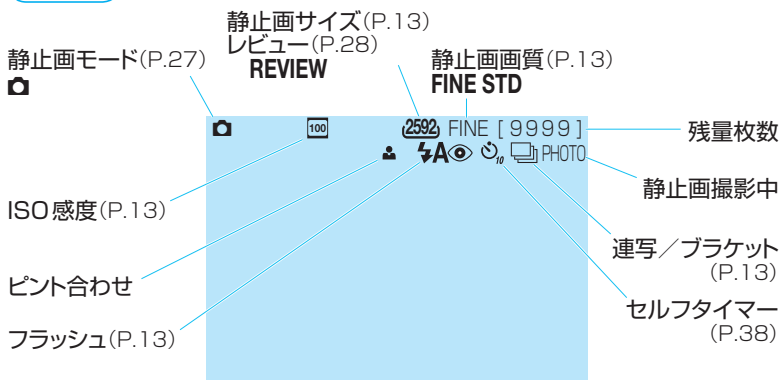
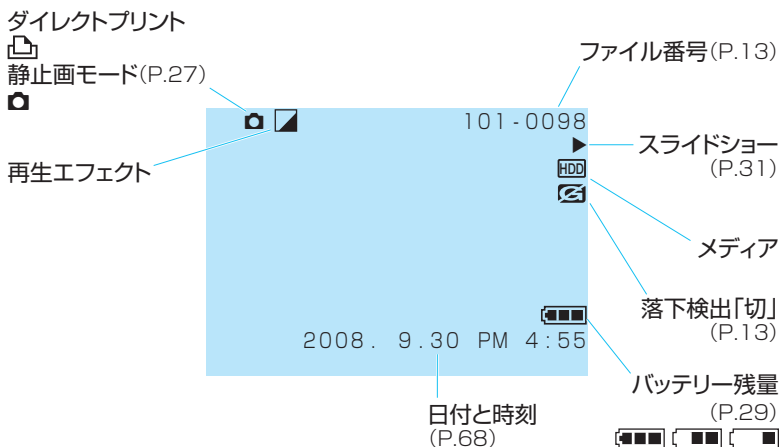
ウィンドカット
（P.13）

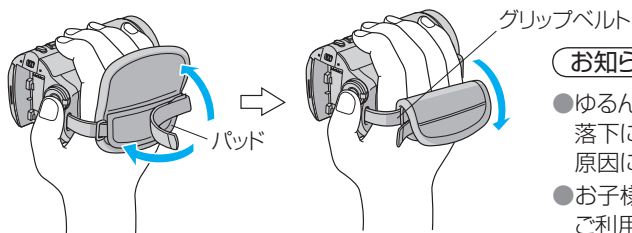
イベント登録
（P.36）

### 再生時

## 静止画のとき

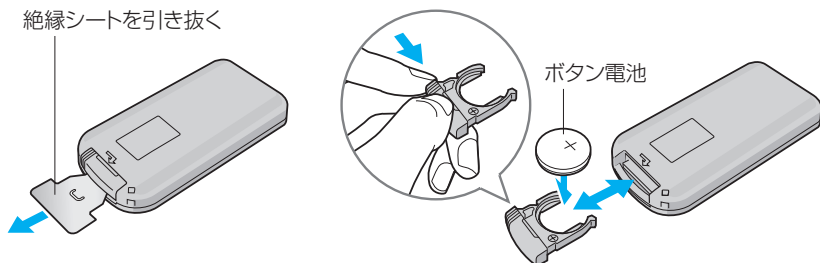
### 撮影時

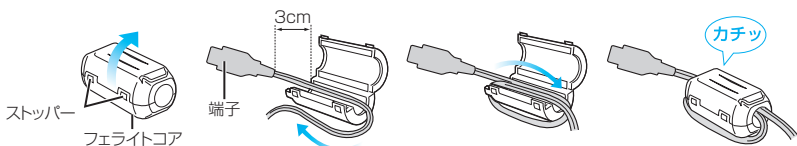
### 再生時

# 準備 1 付属品を準備する

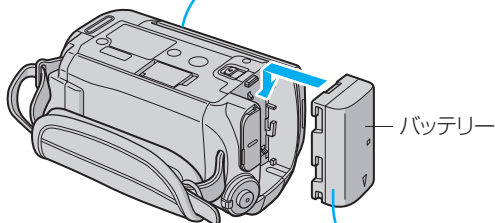
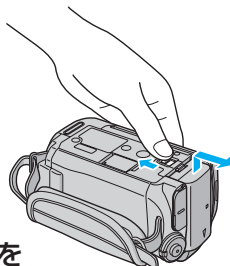
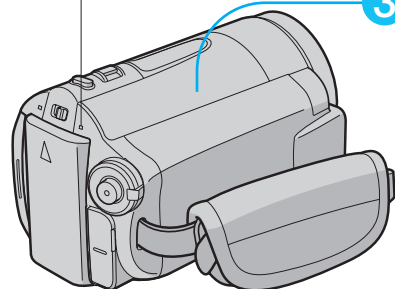
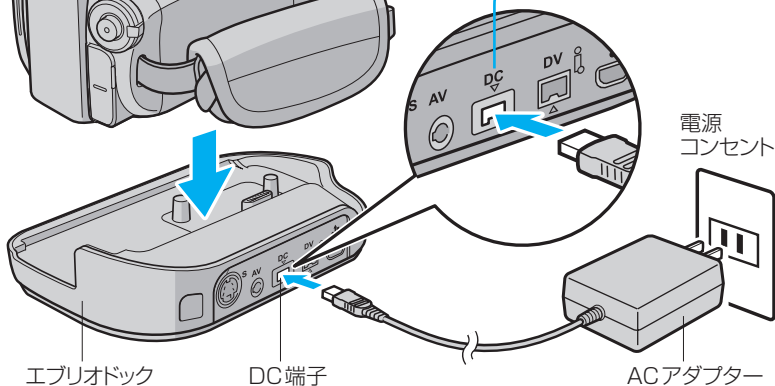
## グリップベルトを調節する

お知らせ

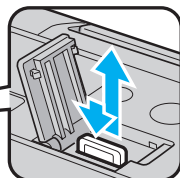
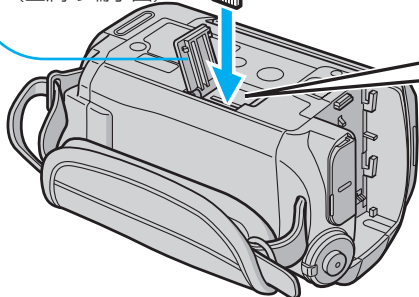
- ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。
- お子様は、大人と一緒にご利用ください。

## リモコン電池の用意をする

■電池を入れ替えるとき

## フェライトコアを AC アダプターとUSB ケーブルに取り付ける

1. 両側のストッパーをはずし、開く
2. 本機側の端子から約3cmの位置に取り付ける
3. 1 回巻き付ける
4. ケーブルをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

お知らせ ●本機と外部機器などを接続したときに発生するノイズを軽減できます。

準備 2

# 充電する

お知らせ ●充電時間の目安は、付属のバッテリーで約1時間30分です。
（室温10℃～35℃の範囲を想定）

# 準備 3 microSDカードを入れる

■取りはずすとき
➡手順①②のあと、
いったん押し込んでから、
取り出す

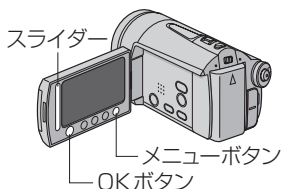
■本機（HDD）のファイルをmicroSDカードに移すとき
➡メニューの「コピー」または「ムーブ」（P.13）

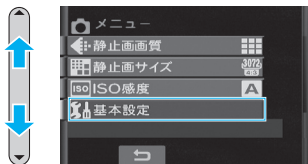
お知らせ

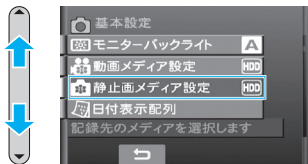
●次のmicroSDカードで動作を確認しています。（※）
動画　：Class 4対応以上のmicroSDHCカード（4GB）
静止画：次のメーカー製の、microSDカード（256MB～2GB）
または microSDHCカード（4GB）
※松下Panasonic・東芝TOSHIBA・サンディスクSanDisk・ATP
その他のmicroSDカード（microSDHCカードを含む）では、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

ファイル(動画や静止画)の記録先を分けたいときや、撮影した静止画をお店でプリントしたいときなどには、市販のmicroSDカードを入れておくと便利です。(microSDカードがなくても撮影できます)

## 静止画の記録先をmicroSDカードにする

**1** 画面を開く

**2** メニューを表示する

**3** スライダーで「基本設定」を選び、OKをタッチする

**4** 「静止画メディア設定」を選び、OKをタッチする

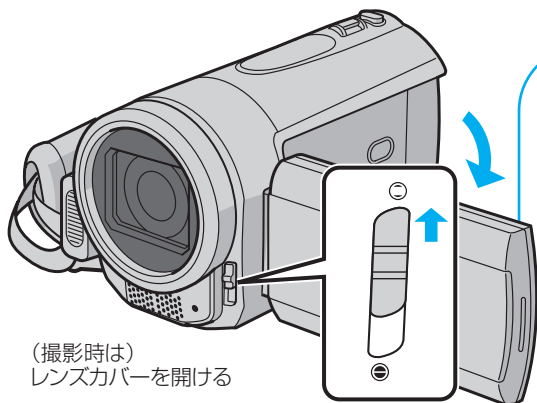
**5** 「SD」を選び、OKをタッチする

■新しいmicroSDカードをはじめて使うとき
➡続いて「SDフォーマット」を選び、OKをタッチする

■終了するとき
➡メニューをタッチする

■記録先をHDDに戻すとき
➡手順⑤で「HDD」を選び、OKをタッチする

■動画の記録先を変更するとき
➡手順④で「動画メディア設定」を選び、OKをタッチする

準　備　4

# 基本操作を覚えよう

## 電源を入／切する

画面の開閉

電源ボタン

## 撮影／再生を選ぶ

切換ボタン

## 動画／静止画を選ぶ

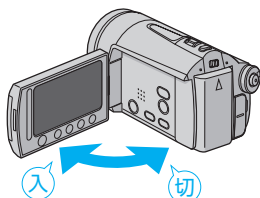
モードスイッチ

## オート／マニュアルを選ぶ

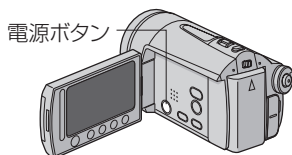
シーンダイヤル

お知らせ

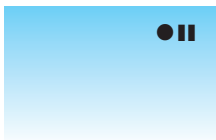
- はじめて撮影するときは、時計を設定します（P.3）。

この操作は、撮影や再生・編集など、すべてに共通する操作です。
以降のページでは、準 備 の操作として説明を省略しています。

画面を開閉すると、電源を入／切できる

●5分以内に再び開くと、すぐに電源が入ります。（高速起動「入」のとき）

●電源ボタンを長く押すと、画面を開けたまま、電源を入／切できます。

●節電のため、操作せずに5分経つと電源が自動的に切れます。（バッテリー使用時のみ）

押す度に、切り換わる

■撮影のとき

■再生のとき

左右にスライドして、モードを切り換える

■ 動画モード

■ 静止画モード

押したまま回し、線に合わせる

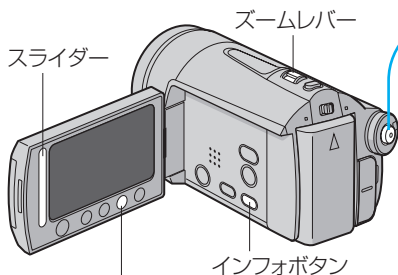
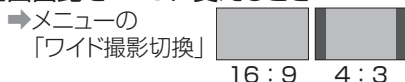
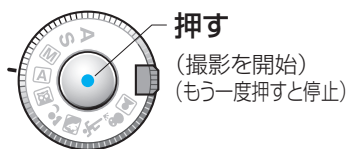
■オート撮影のとき
Aに合わせる

■マニュアル撮影のとき
Mに合わせる

撮影 再生 1

# 動画／静止画を撮る

## 動画を撮る

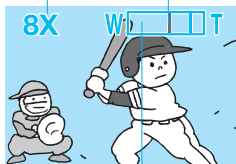
準備 ●モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「撮影」

■画面比を4：3に変えるとき
➡メニューの「ワイド撮影切換」

●設定を変更するまで16：9の画面比で撮影されます。
●動画は12時間まで連続撮影できます。（動画の容量は最大4GB。長時間撮影ではファイルが分割して保存される）

■光量を減らすとき
➡「屋内／屋外モード」（P.38）

■撮った直後に確認するとき
➡「⊜」をタッチして確認し、「⮌」をタッチして戻る（確認後に削除（🗑）できる）

■映像に効果をつけて撮るとき
➡メニューの「マニュアル設定」の「エフェクト」

■ズームするとき

●戻すとき
➡W側

現在のズーム倍率　ズーム位置

光学ズーム（1～10倍）：映像が粗くならない
デジタルズーム（11～200倍）：映像が粗くなる、動画のみ

オート撮影(P.27)では、明るさやピントが自動的に調整されます。
マニュアル撮影(P.27)では、メニューを使って手動で調整できます(P.13)。

## 静止画を撮る

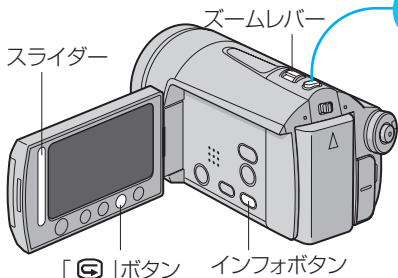
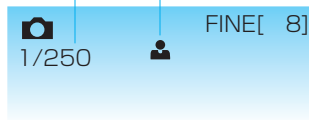
●モードスイッチ：📷モード
●切換ボタン：「撮影」

**1** 半押しする
(ピントを合わせる)

シャッター速度
ピントが合うと緑色に点灯

1/250 FINE[ 8]

**2** 全押しする
(シャッターを切る)

残り枚数
画質
FINE[ 8]
PHOTO
記録中

■セルフタイマーを使うとき
➡「セルフタイマー」(P.38)

■連写するとき
➡メニューの「シャッターモード」

■フラッシュの光りかたを変えるとき
➡メニューの「フラッシュ」

■撮った直後に確認するとき
➡(P.28)

■残量時間やバッテリー残量を調べるとき

U：最高画質
F：高画質
N：標準
E：長時間

●HDDやmicroSDカードの使用状況と残量時間(動画のみ)
●画質の変更➡スライダーで選び、OK をタッチする

●バッテリーの充電状況と撮影可能時間

撮影 再生 2

# 動画／静止画を見る

## 動画を見る

準備 ●モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

### 1 スライダーで動画を選ぶ

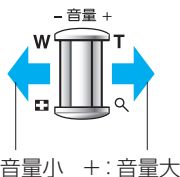
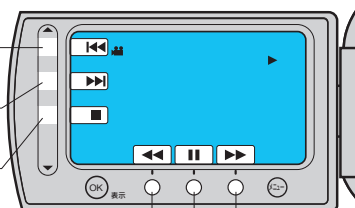
### 2  再生する

（再生画面）

■一覧表示に戻るとき
➡「■」（停止）をタッチする

■テレビで見るとき ➡（P.39）

■撮影日や撮影時間などの情報を見るとき
➡一時停止中、「インフォ」を押す（P.17）

●早送り／早戻し中は、「◀◀」または「▶▶」で再生速度が変化する。（60倍速まで）

撮影した動画や静止画を、
一覧表示（インデックス画面）から選んで再生できます。

## 静止画を見る

**準 備**　●モードスイッチ：📷モード
●切換ボタン：「再生」

### 1 スライダーで静止画を選ぶ

### 2 OK 再生する

（再生画面）

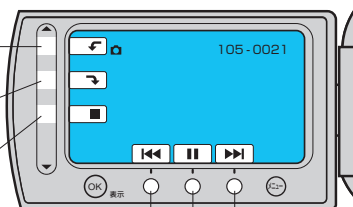
■一覧表示に戻るとき
➡「■」（停止）をタッチする

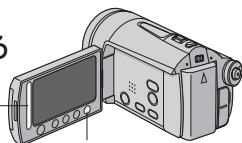
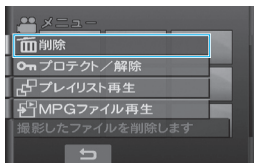
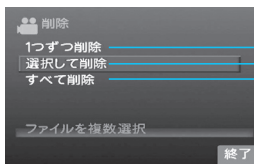
■テレビで見るとき ➡（P.39）

■明るさを確認するとき
➡手順②のあと「インフォ」ボタンを２度押し、ヒストグラムを調べる（P.83）

■撮影日やサイズなどの情報を見るとき
➡「インフォ」を押す（P.17）

撮影 再生 3

# 削除する／保護する

準備 ●モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「再生」

**1** メニュー メニューを表示する

**2** スライダーで「削除」または「プロテクト/解除」を選び、OKをタッチする

**3** 削除やプロテクトの方法を選び、OKをタッチする

■終了するとき
➡ メニュー をタッチする

■プロテクトを解除するとき
➡プロテクトするときと同じ操作で、プロテクトを解除する

※画面は削除の場合

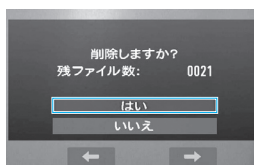
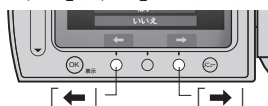
**1ファイルずつ**
- 1つずつ削除
- 1つずつ設定

**複数のファイルを選んで**
- 選択して削除
- 選択して設定

**すべてまとめて**
- すべて削除
- すべてプロテクト
- すべて解除

いらなくなった動画や静止画を削除したり、
大切な画像に誤消去防止の保護(プロテクト)をかけることができます。

表示した動画や静止画を、1つずつ削除またはプロテクトします。

①「はい」を選び、OKをタッチする

●別のファイルを表示するとき
➡「⬅」や「➡」をタッチする

削除またはプロテクトしたい動画や静止画を選び、まとめて実行します。

①ファイルを選び、OKをタッチする ②選び終わったら、「終了」をタッチする

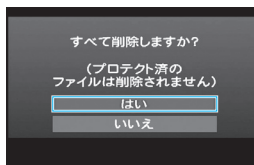
「🗑(削除)」または「🔑(プロテクト)」が表示

●別のファイルを選ぶとき➡手順①を繰り返す
●解除するとき➡再び画像を選び、OKをタッチする

③削除する場合は「削除して終了」を選び、OKをタッチする

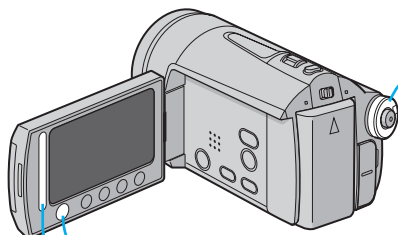
●プロテクトする場合は「はい」を選ぶ。

すべての動画、またはすべての静止画を、削除またはプロテクトします。

①「はい」を選び、OKをタッチする

●プロテクトする場合は、
「すべてプロテクト」か
「すべて解除」が選べる。

撮影 再生 4

# 場面や状況に合わせる（プログラムAE）

準備 ●モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「撮影」

1 押したまま回し、最適なモードを選ぶ

2 絞り優先AEとシャッタースピード優先AEは、**スライダーで内容を選び、OKをタッチする**

選んだモードのアイコン

**A 絞り優先AE**
：絞りを調節できる。

**S シャッタースピード優先AE**
：シャッタースピードを調節できる。

**M マニュアル撮影**（P.26）
：メニューを使って調整できる。

**A オート撮影**（P.26）
：自動的に調節される。

**ナイトアイモード**
：周囲が薄暗いと自動的に感度を上げる。（最大30倍）
手ブレしやすくなるので、三脚で固定する。

**夜景モード**
：夜景などを自然な感じに。

## ■設定を解除するとき

➡ダイヤルを回して、別のモードを選ぶ
➡AやSに設定した場合は、「解除」をタッチしてから別のモードを選ぶ

撮りたいものに合わせて露出やシャッタースピードを調節し、
最適な設定で撮影できます。

ポートレートモード
：背景をぼかして、人物を
浮かび上がらせる。

スポーツモード
：動きの速いものを
1コマ1コマ鮮明に。

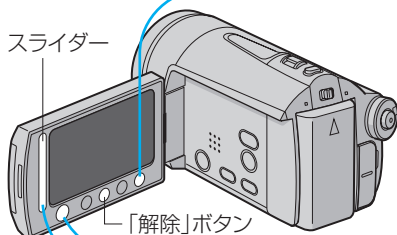
スノーモード
：晴れた日の雪原などで、
被写体が暗く映ることを防ぐ。

スポットライトモード
：ライトの中の人物が
明るくなりすぎない。

| モード | 使いかた1 | 使いかた2 |
|---|---|---|
| 絞り優先AE<br><br>🎥：F3.5～F16<br>📷：F3.5～F6.3＊1<br>📷：F3.5～F8.0＊2 | ●光を取り込んで明るく、背景をぼかすとき<br>➡数値を小さくする（F3.5まで） | ●光の取り込みを抑えて、背景にもピントを合わせるとき<br>➡数値を大きくする<br>•暗くなることがある。 |
| シャッタースピード優先AE<br><br>🎥：1/2～1/4000<br>📷：1/2～1/500<br>（フラッシュ使用時：1/2～1/250） | ●動きの速い被写体を鮮明に撮るとき<br>➡数値を小さくする<br>•暗くなることがある。 | ●動きの速い被写体の流れを撮るとき<br>➡数値を大きくする（1/2まで）<br>•手ブレしやすくなるので、三脚で固定する。 |

＊1：GZ-MG740/730の場合
＊2：GZ-MG530の場合

# イベントを動画に登録する

準備 ●モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「撮影」

1 メニューを表示する

2 スライダーで「イベント登録」を選び、OKをタッチする

3 イベントの種類を選び、OKをタッチする

●以後、撮影する動画に選んだイベントが登録され、画面にアイコンが表示されます。(P.20)（変更するまで同じイベントが登録され続けます）

■終了するとき
➡メニューをタッチする

■イベントの登録をやめるとき
➡手順③で「解除」をタッチする

■登録したイベントを変更するとき
➡「イベント変更」(P.37)

撮影する前に「旅行」「運動会」などのイベントを登録しておくと、
動画をイベントごとにまとめることができ、検索や整理が楽になります。

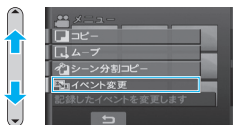
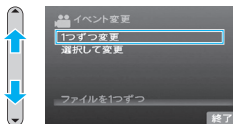
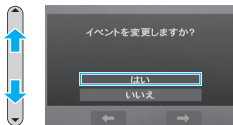
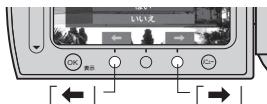
## 一度登録したイベントを変更するとき

準備 ●モードスイッチ：モード
●切換ボタン：「再生」

**1** メニューを表示する

**2** スライダーで「イベント変更」を選び、OKをタッチする

**3** 「1つずつ変更」を選び、OKをタッチする

**4** 「はい」を選び、OKをタッチする

●別のファイルを表示するとき
➡「⬅」や「➡」をタッチする

**5** 変更後のイベントを選び、OKをタッチする

■終了するとき
➡ メニューをタッチする

■複数の動画をまとめて変更するとき
①手順③で「選択して変更」を選び、OKをタッチする
②動画（ここから）を選び、OKをタッチする
③動画（ここまで）を選び、OKをタッチする
④イベントを選び、OKをタッチする

確認
準備
撮影・再生
編集・保存
パソコン
困ったとき

撮影
再生
6

# 屋内/屋外モードとセルフタイマー

準備 ●モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「撮影」

## 光量を減らす

屋内/屋外モード
（NDフィルター）

撮影時、光量の多い屋外では屋外モードを、それ以外では屋内モードのご使用をおすすめします。屋外モードはNDフィルターが入り、光量を1/4に減らす効果があります。

①マニュアル撮影にする（P.26）

②屋内/屋外モードボタンを押す

●押す度に…
：屋内モード（NDフィルター：なし）
↓
：屋外モード（NDフィルター：あり）

## セルフタイマーを使う

セルフタイマー

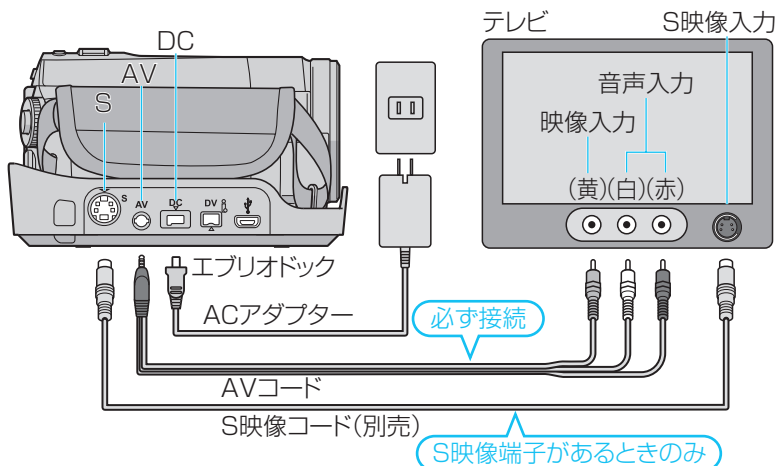
設定して静止画ボタンを押すと、10秒後または2秒後に撮影されます。

●押す度に…
：10秒
↓
：2秒
↓
（なし）：切

●カウントダウン中は、残り時間（秒）が表示される。

撮影再生 7

# テレビで見る

準備 ●電源：「切」
●お使いのテレビの説明書もご覧ください

お知らせ ●本機のAV端子とDC端子に接続することもできます(P.15)。

## メニューで設定する

(メニュー)をタッチすると、以下を設定できます。

■テレビに合わせて画面比を変えるとき
➡「基本設定」の「接続テレビ選択」

■日付などの表示を消すとき
➡「基本設定」の「テレビ表示(切)」

■日付だけを表示するとき
➡「基本設定」の「テレビ表示(入)」
(OK)(表示)を何度かタッチする

■本機の画面を消すとき(節電)
➡「モニターオフ」
リモコンで操作する
(本機を操作すると、設定が解除されます)

## 再生する


●動画を見るとき➡P.30
●静止画を見るとき➡P.31
●プレイリストを見るとき➡P.41

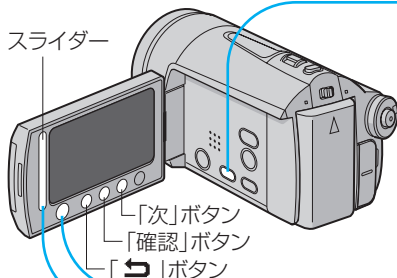

(16：9の画面比で撮影したとき)

16：9テレビ

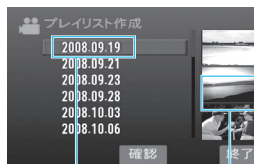
縦長に見える

編集 1

# タイトル付きのプレイリストを簡単につくる

準備 ●モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1 

タイトル画面を表示し、「次」をタッチする

2 スライダーで撮影日を選び、OK をタッチする

撮影日　その日の最初に撮影した動画

3 タイトルを選び、OK をタッチする

プレイリスト再生の最初に、選んだタイトルが約５秒表示される

4  


■終了するとき
➡ メニュー をタッチする

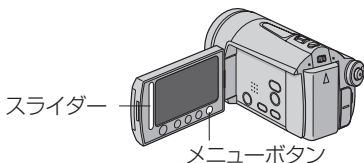
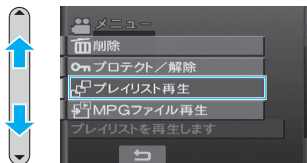
■一つ前の画面に戻るとき
➡「⮌」をタッチする

■動画やタイトルを確認するとき
➡「確認」をタッチする

■タイトルが不要なとき
➡手順③で「タイトルなし」を選ぶ

# プレイリストを見る

準備 ●モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

## 1 メニューを表示する

## 2 スライダーで「プレイリスト再生」を選び、OKをタッチする

## 3 プレイリストを選び、OKをタッチする

■再生時の操作 ➡P.30

■プレイリストをつくるとき
➡「プレイリストを簡単につくる」（P.40）
➡「プレイリストをつくる」（P.42）

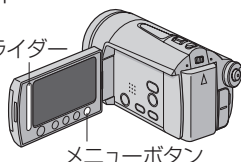
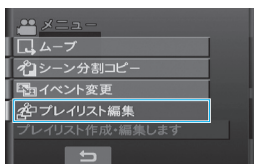
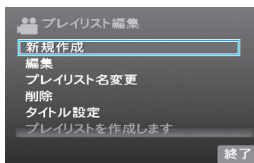
### プレイリストとは

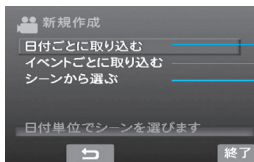
続けて再生したい動画を、再生したい順序に並べた一覧のことです。
なお、動画をプレイリストに登録したり、プレイリストから削除したりしても、元の動画ファイルはそのまま残ります。

お知らせ ●動画ファイルを削除すると、プレイリストから同じ動画が削除されます。

# 編集 3 プレイリストをつくる I

準備 ●モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1 メニューを表示する

2 スライダーで「プレイリスト編集」を選び、OK をタッチする

3 「新規作成」を選び、OK をタッチする

●修正／削除するとき
➡「編集」や「削除」を選ぶ

4 作成方法を選び、OK をタッチする

**すべての動画から選んで**

シーンから選ぶ

■終了するとき ➡ メニュー をタッチする

■プレイリストを再生するとき ➡(P.41)

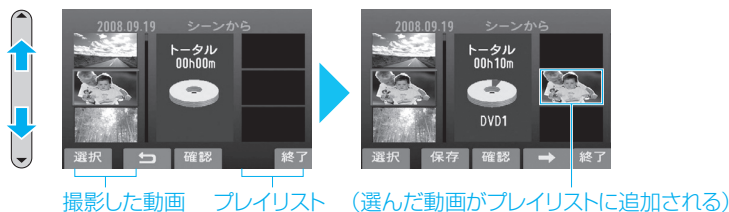
撮影した動画をお好みの順でつなげるなどして、
オリジナル映像(プレイリスト)をつくることができます。

撮影したすべての動画からお好みの動画を選び、プレイリストをつくります。

①撮影した動画を選ぶ

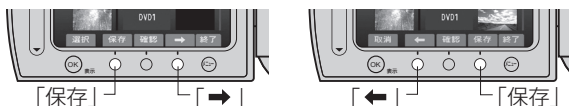
② OK をタッチする

③挿入位置を選び、OK をタッチする
(右欄に動画があると、挿入位置を選べる)

撮影した動画　プレイリスト　(選んだ動画がプレイリストに追加される)

●選んだ動画の内容を確認する➡手順①のあと、「確認」をタッチする
●プレイリストに追加した動画を消す
➡「➡」をタッチしてプレイリストから消したい動画を選び、OK (取消)をタッチする

④手順①~③を繰り返し、好みの順に動画を並べる

⑤「保存」をタッチする
(ボタンの表示は、選んでいる場所によって変化する)

「保存」　「➡」　「⬅」　「保存」

⑥「保存して終了」を選び、OK をタッチする

(インデックス画面に戻る)

●作成した日時が、プレイリストの名前になります。

編集 4

# プレイリストをつくる Ⅱ

## 撮影日から探して

日付ごとに取り込む

撮影日を選び、その日に撮影した動画をまとめて選んで並べます。

（P.42の手順④で「日付ごとに取り込む」を選んだ後）

①撮影日を選ぶ

②OKをタッチする

●選んだ撮影日に含まれる動画を確認する
➡手順①のあと、「確認」をタッチする
（動画の内容を確認するには、動画を選んでOKをタッチする）

③挿入位置を選び、OKをタッチする
（右欄に動画があると、挿入位置を選べる）

●プレイリストに追加した動画を消す
➡「➡」をタッチしてプレイリストから消したい動画を選び、OK（取消）をタッチする

④手順①～③を繰り返し、撮影日を並べる

⑤「保存」をタッチする（P.43 手順⑤）

⑥「保存して終了」を選び、OKをタッチする

撮影した動画をイベントや撮影日から探してお好みの順でつなげて、
まとまったオリジナル映像（プレイリスト）がつくれます。

## イベントと撮影日から探して

イベントごとに取り込む

登録したイベント（P.36）と撮影日を選び、
その日に撮影した動画をまとめて選んで並べます。

（P.42の手順④で「イベントごとに取り込む」を選んだ後）

①イベントを選び、OK をタッチする

②撮影日を選び、OK をタッチする
（P.44 手順①〜②）

選んだイベントが登録されている撮影日

③挿入位置を選び、OK をタッチする
（右欄に動画があると、挿入位置を選べる）

④手順②〜③を繰り返し、撮影日を並べる

⑤「➡」をタッチし、「保存」をタッチする

（ボタンの表示は、選んでいる場所によって変化する）

「➡」または「保存」

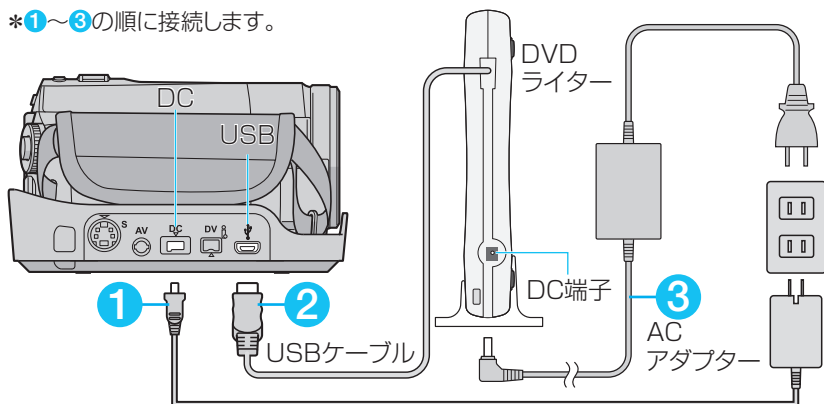
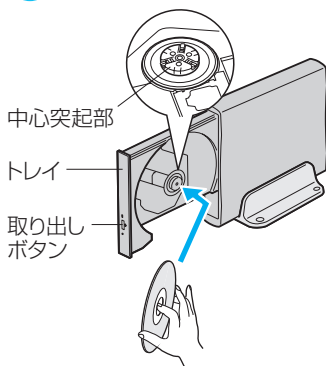
⑥「保存して終了」を選び、OK をタッチする

確認
準備
撮影・再生
編集・保存
パソコン
困ったとき

DVD 保存 1

# DVDライターを準備する

準備 ●電源：「切」
●DVDライター（別売）のACアダプターを取りはずす
●お使いのDVDライターの説明書もご覧ください

＊❶～❸の順に接続します。

## ❹ 新しいDVDをセットする

①取り出しボタンを押し、手でトレイを引き出す

②トレイを手で支え、DVDを中心突起部にはめ込む
●カチッと音がする

③トレイを本体に押し込む
●カチッと音がする

| 記録できる DVDディスク | •DVD-R（未使用のもの）<br>•DVD-RW |
|---|---|
| 記録できない DVDディスク | •8cmサイズ<br>•特殊な形状のもの<br>•キズのあるもの |

お知らせ ●1枚のDVDに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。
●必要なDVDの枚数は、DVD作成時の「作成一覧」画面で確認できます。（P.49）

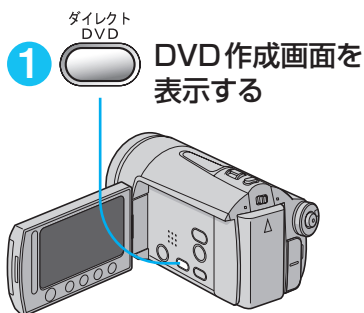
# DVDを簡単につくる

一度もDVDに保存していないファイル（動画や静止画）を、まとめてDVDに保存できます。（ダイレクトDVD）

**準備**
●DVDライターを準備する（P.46）
●モードスイッチ：動画または静止画モード（保存したいものに合わせる）

**コピー元（本機）**

## ① DVD作成画面を表示する

ダイレクトDVD

■静止画を保存するとき
追記しない場合や追記を終える場合は、手順②で「作成後ファイナライズ」を選ぶ

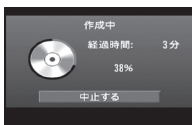
お知らせ
●ほかの機器でDVDを再生する場合は、ファイナライズが必要です。

**コピー先（DVDライター）**

## ② 「作成する」または「作成開始」を選び、OKをタッチする

（画面は動画モードのとき）

（DVDにコピー開始）

●中止するとき
➡「中止する」を選び、OKをタッチする

●「ディスクを入れ替えてください」と表示されたとき
➡新しいDVDに入れ替える

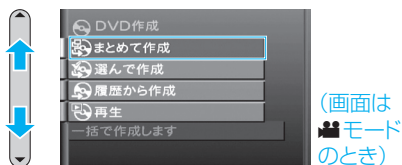
## ③ OKをタッチする

## ④ DVDを取り出す

DVD保存 3

# まとめてDVDに保存する

準備 ●DVDライターを準備する(P.46)
●モードスイッチ：🎥または📷モード

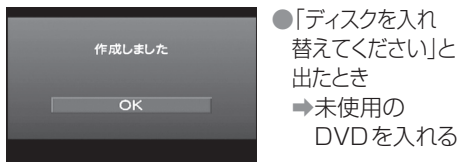
## 1 「まとめて作成」または「まとめて保存」を選び、OKをタッチする

(画面は🎥モードのとき)

## 2 ファイルの選びかたを決め、OKをタッチする

## 3 「作成する」または「作成開始」を選び、OKをタッチする

●中止するとき
➡「終了」をタッチする

## 4 OKをタッチする

●「ディスクを入れ替えてください」と出たとき
➡未使用のDVDを入れる

DVDライター(別売)と接続すると、一度もDVDに保存していないファイル(動画や静止画)や本機のすべてのファイルを、DVDにまとめて保存できます。

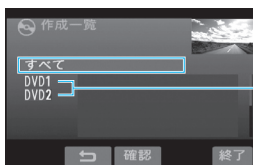
本機に撮影したすべてのファイルを、DVDに保存する。

①「すべて」を選び、OK をタッチする

●画面は2枚のDVDが必要な場合(「DVD1」は1枚目に、「DVD2」は2枚目に保存される。動画のみ)

---

一度もDVDに保存していないファイルを、まとめてDVDに保存する。

①「すべて」を選び、OK をタッチする

●画面は2枚のDVDが必要な場合(「DVD1」は1枚目に、「DVD2」は2枚目に保存される。動画のみ)

お知らせ ●エブリオの「ダイレクトDVD」ボタンを押すと、この操作でつくるDVDと同じDVDを、より簡単につくることができます(P.47)。

■一度作成したDVDをもう一枚つくるとき ➡P.48手順①で「履歴から作成」を選ぶ

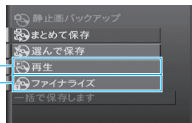
■DVDビデオを1枚ずつつくるとき ➡作成一覧画面で「DVD1」などを選ぶ

■作成したDVDを再生して確認するとき
P.48手順①で「再生」を選ぶ

■静止画を保存するとき
追記しない場合や追記を終える場合は、
P.48手順③で「作成後ファイナライズ」を選ぶ
または、P.48手順①で「ファイナライズ」を選ぶ

お知らせ ●ほかの機器でDVDを再生する場合は、ファイナライズが必要です。

DVD保存 4

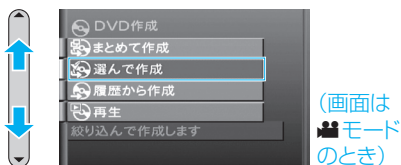
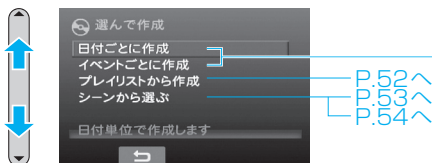
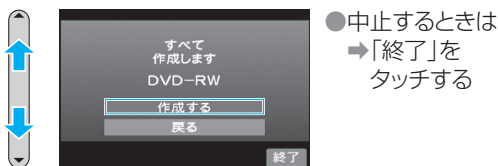
# 選んでDVDに保存するⅠ

準備 ●DVDライターを準備する(P.46)
●モードスイッチ：🎥または📷モード

## 1 「選んで作成」または「選んで保存」を選び、OKをタッチする

(画面は🎥モードのとき)

## 2 ファイルの選びかたを決め、OKをタッチする

## 3 「作成する」または「作成開始」を選び、OKをタッチする

●中止するときは
➡「終了」をタッチする

## 4 OKをタッチする

●「ディスクを入れ替えてください」と出たとき
➡未使用のDVDを入れる

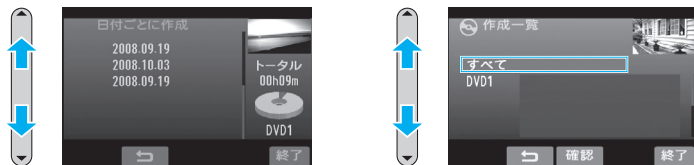
🎥📷
**選んだ撮影日だけを**
日付ごとに作成
日付ごとに保存

🎥
**選んだイベントの動画だけを**
イベントごとに作成

DVDライター(別売)と接続すると、「旅行」などのイベントや撮影日などでファイル(動画や静止画)をまとめて選んで、DVDに保存できます。

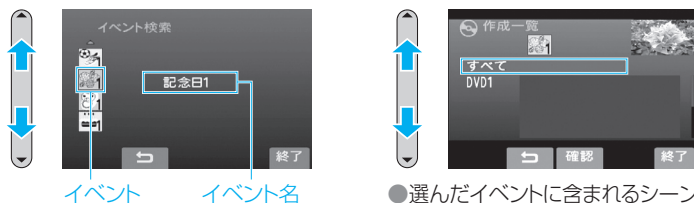
選んだ日付に撮影したすべてのファイルをDVDに保存する。

①撮影日を選び、OK をタッチする

②「すべて」を選び、OK をタッチする

イベントを選び、そのイベントを登録したすべての動画を、DVDに保存する。

①イベントを選び、OK をタッチする

イベント　イベント名

②「すべて」を選び、OK をタッチする

●選んだイベントに含まれるシーンの一覧を見る➡「確認」をタッチする

■一度作成したDVDをもう一枚つくるとき ➡P.50手順①で「履歴から作成」を選ぶ

■DVDビデオを1枚ずつつくるとき ➡作成一覧画面で「DVD1」などを選ぶ

■作成したDVDを再生して確認するとき

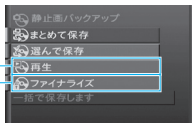
P.50手順①で「再生」を選ぶ

■静止画を保存するとき

追記しない場合や追記を終える場合は、
P.50手順③で「作成後ファイナライズ」を選ぶ
または、P.50手順①で「ファイナライズ」を選ぶ

静止画バックアップ
まとめて保存
選んで保存
再生
ファイナライズ
一括で保存します

お知らせ　●ほかの機器でDVDを再生する場合は、ファイナライズが必要です。

DVD 保存 5

# 選んでDVDに保存する Ⅱ

**選んだ プレイリストを**

プレイリスト から作成

作成したプレイリストを選び、プレイリスト通りの動画をDVDに保存する。

（P.50の手順②で「プレイリストから作成」を選び）

①プレイリストを選び、OK をタッチする

作成した プレイリスト

DVDに コピーする動画リスト

②挿入位置を選び、OK をタッチする

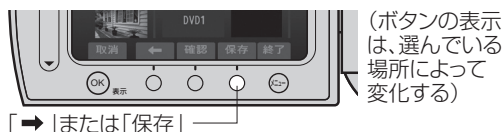
（右欄にプレイリストがあると、挿入位置を選べる）

（選んだプレイリストが、DVDコピーリストに追加される）

③手順①～②を繰り返し、プレイリストを並べる

④「保存」をタッチする

（ボタンの表示は、選んでいる場所によって変化する）

「➡」または「保存」

⑤「すべて」を選び、OK をタッチする

⑥「作成する」を選び、OK をタッチする（P.50 手順③へ）

DVDライター（別売）と接続すると、プレイリスト（P.41）や
お好みで選んだファイル（動画や静止画）を、DVDに保存できます。

## 選んだ動画だけを

シーンから選ぶ

1つ、または複数の動画を選んで、DVDに保存する。

（P.50で「シーンから選ぶ」を選び）

①動画を選ぶ

②OKをタッチする

●動画の内容を確認する
➡手順①のあと、「確認」をタッチする

撮影した動画

③挿入位置を選び、OKをタッチする
（右欄に動画があると、挿入位置を選べる）

●保存する動画の一覧を確認する
➡「➡」をタッチして右欄の動画を選び、「確認」をタッチする

保存する動画

④手順①～③を繰り返し、好みの順に並べる

⑤「保存」をタッチする

「➡」または「保存」

（ボタンの表示は、選んでいる場所によって変化する）

⑥「すべて」を選び、OKをタッチする

⑦「作成する」を選び、OKをタッチする
（P.50 手順③へ）

DVD 保存 6

# 選んでDVDに保存する Ⅲ

**選んだ静止画だけを**

画像から選ぶ

1つ、または複数の静止画を選んで、DVDに保存する。

（P.50で「画像から選ぶ」を選び）

①静止画を選ぶ

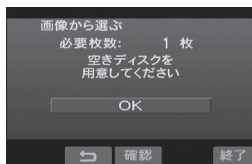
●静止画の内容を確認する
➡「確認」をタッチする

② OK をタッチする

（選んだ静止画に ✔ がつく）

③手順①～②を繰り返し、静止画を選ぶ

④「次」をタッチする

⑤ OK をタッチする

●保存する静止画の一覧を確認する
➡「確認」をタッチする

⑥「作成開始」を選び、OK をタッチする
（P.50 手順③へ）

# 技術情報

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

## バッテリーの処分について

●バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。

・お問い合わせ: 有限責任中間法人 JBRC　http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

## 著作権について

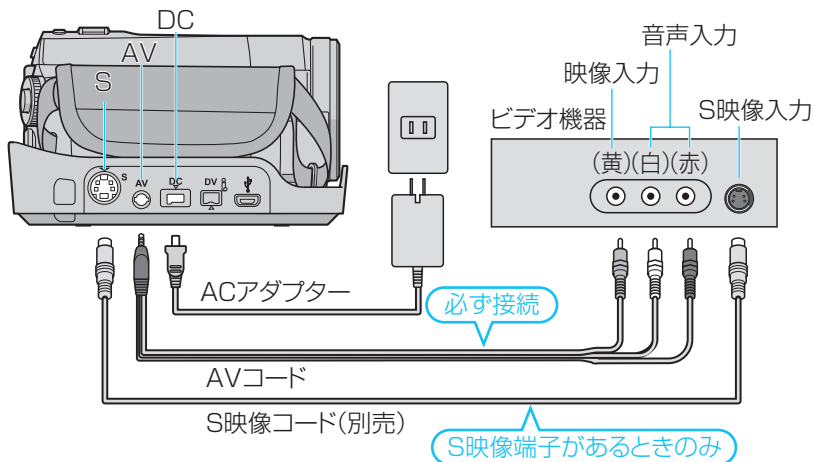
・録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

## 他社製品の登録商標と商標について

・本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
・Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
・Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・Macintosh、Mac OSは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
・Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。
・その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

ビデオ 保 存 1

# ビデオ機器にダビングする

準 備 ●電源：「切」
●お使いのビデオ機器の説明書もご覧ください

## ■日付などの表示を消すとき／日付だけを表示するとき

➡「テレビで見る」(P.39)

## ■デジタルでダビングするとき

➡ビデオ機器(HDDレコーダーなど)のDV入力端子とエブリオドックのDV端子を、DVケーブル(別売)で接続する

## ■本機を録画側にするとき

➡①メニューの「アナログ入出力切替」を「入出力」にする
②ビデオ機器の映像／音声出力端子に接続する
③本機の切換ボタンで「撮影」にし、録画ボタンで録画する

お知らせ
- DVケーブルで接続すると、日付などの表示は出力されません。
- 本機を録画側にする場合、録画する映像に画面比の「4：3」と「16：9」が混在していると、画面比が切り替わった所で本機の録画が停止します。画面比の混在した映像をダビングするときは、画面比が切り替わるごとに録画をしてください。

HDDレコーダーやビデオデッキなどのビデオ機器に接続して、
動画やプレイリストをダビングできます。

## 動画をダビングする

| 再生側（本機） | 録画側（ビデオ機器） |
|---|---|
| | **1 録画の準備をする** |
| **2 動画を再生する**（P.30） → | **3 録画を開始する** |
| | （ダビング中） |
| | **4 録画を停止する** |

## プレイリストごとの動画をダビングする

| 再生側（本機） | 録画側（ビデオ機器） |
|---|---|

**1 録画の準備をする**

**2 「プレイリスト再生」**（P.41）
**でプレイリストを選ぶ**

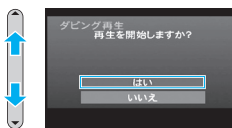
**3 「DUB」をタッチする**

「DUB」

**4 「はい」を選び、**
**OKをタッチする**

・黒画面 → プレイリスト再生 → 黒画面になる

**5** 黒画面が表示されたら
**録画を開始する**

（ダビング中）

**6** 黒画面が表示されたら
**録画を停止する**

・映像の最初と最後に約５秒間の黒画面が入る。

お知らせ

●タイトル付きのプレイリスト（P.40）の場合、黒画面の代わりにタイトルが表示されます。

Windows 1

# パソコンでこのようなことができます

## ■PowerCinemaで、簡単保存・再生・コピー・編集

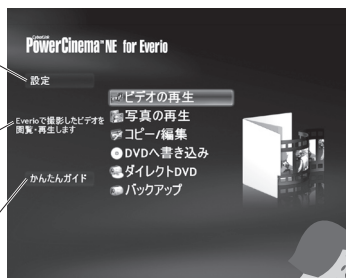
**設定**

各項目を細かく設定できます

**機能説明**

右の機能を選ぶと説明が表示されます

**かんたんガイド**

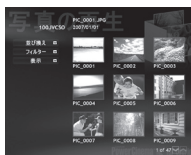
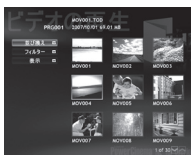
詳しい使いかたはインターネットで見られます

### ●新しく撮った映像をおまかせで保存できる「ダイレクトバックアップ」

エブリオの「ダイレクトバックアップ」ボタンを押すと、撮影した映像をパソコンに保存できます。

### ●エブリオのメディアを選んで保存できる「バックアップ」

エブリオのHDDまたはmicroSDカードを選んで、パソコンに映像を保存できます。

### ●パソコンに保存したビデオを見られる「ビデオの再生」

### ●パソコンに保存した写真を見られる「写真の再生」

画面をクリックするだけで、見たい映像を見られます。

動画や静止画を撮影した後は、パソコンに保存して、
付属のソフトで再生・編集・ディスク作成を楽しむことができます。

■PowerDirectorで編集!

■PowerProducerでディスク作成!

■フォト・ナビゲーターで静止画を活用!

●ディスクの作成/編集などができる「コピー/編集」

| | |
|---|---|
| コピー | ：必要な映像を選んでコピーできます。 |
| 編集 | ：必要な映像を選び、PowerDirectorで編集できます。 |
| 削除 | ：不要な映像を選び、削除できます。（エブリオ本体のファイルは削除できません） |
| ディスク作成 | ：必要な映像を選び、PowerProducerでディスクを作成できます。 |

お知らせ ●付属のソフトの操作などで困ったときは、P.79のお問い合わせ先へご相談ください。

Windows 2

# インストールする

## 動作環境を確認する

■次の条件を満たすパソコンに、ファイルを保存できます。

OS：次のいずれか（プリインストール版）
・Windows XP Home Edition/Professional（SP2）
・Windows Vista Home Basic/Home Premium（32ビット版）

端子：標準装備のUSB 2.0端子

■さらに次の条件を満たすパソコンで、付属ソフトを使えます

CPU：Intel Pentium 4 1.6GHz以上（2.2GHz 以上推奨）
Intel Pentium M 1.4GHz以上
Intel Core Duo 1.5GHz以上

RAM：Windows XPでは、256MB以上
＊PowerCinema NE For EverioでDVDを作成する場合は、1GB以上必要
Windows Vistaでは、1GB以上（2GB以上推奨）

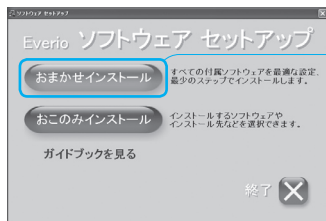
HDD空き容量：インストール時に、550MB以上
DVD作成時に、30GB（60GB以上推奨）

ディスプレイ：1024×600ピクセル以上を表示可能なこと（VRAM：128MB以上推奨）

記録型DVDドライブ：CyberLink社が対応するドライブ（P.79）

## 付属ソフトをインストールする

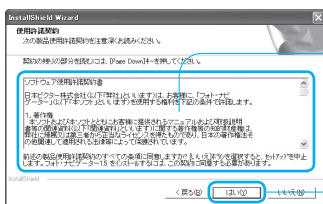
●付属のCD-ROMをパソコンに入れる（セットアップ画面が表示される）

1

（ソフトウェアセットアップ画面で）
**「おまかせインストール」を押す**

●「おこのみインストール」を選ぶと必要なソフトを選択して、インストールが可能です。

お知らせ ●「おまかせインストール」を押した場合、フォトナビゲーターとPowerCinemaのみ、デスクトップにアイコンができます。

対応するパソコンの条件を確認し、動画の再生・編集・DVD作成や、静止画のアルバム作成ができる付属ソフト(P.58)をインストールします。

**2**

(フォト・ナビゲーターの使用許諾契約)
**内容を確認し、**

**「はい」を押す**

● フォト・ナビゲーターのインストールが始まる。

**3**

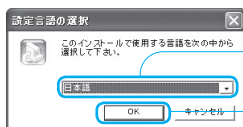
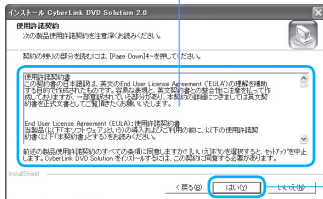
(設定言語の選択画面で)
**言語を確認し、**

**「OK」を押す**

**4**

(Cyber Link DVD Solution使用許諾契約の)
**内容を確認し、**

**「はい」を押す**

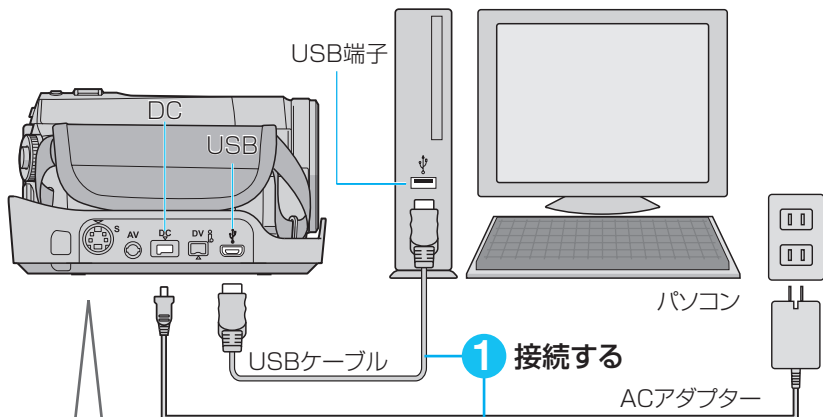
● CyberLink DVD Solutionのインストールが始まる。
➡ PowerDirector Express(編集ソフト)、
➡ PowerCinema(ファイル管理・再生ソフト)、
➡ PowerProducer(DVD作成ソフト)のインストールが完了すると、画面を表示。

**5**

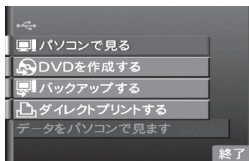
**「完了」を押す**

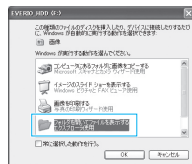
インストールが完了し、デスクトップにアイコンが作成される。
(①の画面で「×」を押すと終了する)

# Windows 3 パソコンと接続する

**準 備**
●電源：「切」
●付属のCD-ROMからパソコンにソフトをインストールしておく（P.60）

**1 接続する**

**2 電源を入れる**

●左の画面が表示される

## ■付属ソフトを使わずにファイルをパソコンに保存するとき

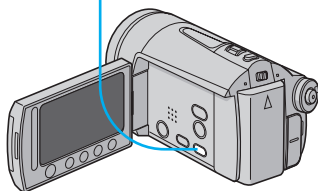
①本機で「パソコンで見る」を選び、OK をタッチする。
②パソコンに表示された画面「EVERIO_HDD」または「EVERIO_SD」で　「フォルダを開いてファイルを表示する」を選び、「OK」を選ぶ。
③「SD_VIDEO」（動画フォルダ）や「DCIM」（静止画フォルダ）をコピーする（P.65）。

本機を取りはずすには、P.63の手順３の①～③を行います。

# Windows 4 新しいファイルを保存する

パソコンに一度も保存していないファイル(動画と静止画)を、パソコンにまとめて保存できます。(ダイレクトバックアップ)

①パソコンに付属ソフトをインストールしておく(P.60)
②本機をパソコンに接続し、本機の電源を入れる(P.62)

| バックアップ元(本機) | バックアップ先(Windows) |
|---|---|

**1** ダイレクトバックアップ **押す**

(パソコンにバックアップ開始)

●ソフトが自動的に起動し、バックアップが始まる

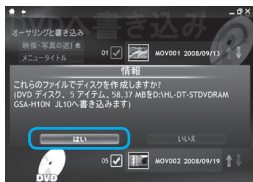
**2 ソフトを終了する**

**3 本機をはずし、終了する**

押す

①「ハードウェアの安全な取り外し」または「取り出し」から「USB大容量記憶装置デバイスードライブを安全に停止します」を選ぶ。
②「OK」を選ぶ。
③USBケーブルを抜く。

■DVDを保存先にするとき

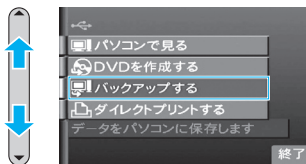
①「ダイレクトDVD」ボタンを押す (P.16)。
②「はい」を選ぶ。

③DVD書き込みが終わったら、本機をはずして終了する。

# Windows 5 すべてのファイルを保存する

本機のHDDとmicroSDカードの一方を選び、そのなかにあるすべてのファイル(動画と静止画)をパソコンに保存できます。

準備 ①パソコンに付属ソフトをインストールしておく(P.60)
②本機をパソコンに接続し、本機の電源を入れる(P.62)

| バックアップ元(本機) | バックアップ先(Windows) |
|---|---|

## 1 「バックアップする」を選び、OKをタッチする

## 2 バックアップしたいメディアを選ぶ

●保存先を調べる、変更するとき
→「設定」→「バックアップフォルダ」

お知らせ ●パソコンのPowerCinema NE for Everioの画面で「バックアップ」を選ぶこともできます。その場合は、あらかじめ本機の画面で「パソコンで見る」を選んでください。

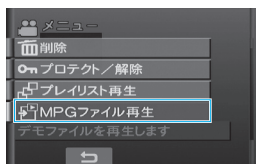
# フォルダとファイルの一覧

HDDとmicroSDカードには、フォルダとファイルが次のように作成されます。
フォルダとファイルは、必要になったときに作成されます。

- 「EVERIO_HDD」（HDD）
- 「EVERIO_SD」（microSDカード）
  - 「DCIM」
    - 「100JVCSO」 （静止画フォルダ）
      - PIC_0001.JPG （静止画ファイル）
      - PIC_0002.JPG
      - PIC_0003.JPG
      - ⋮
    - 「101JVCSO」
    - 「102JVCSO」
    - ⋮
  - 「SD_VIDEO」
    - 「MGR_INFO」 ←（管理情報）
    - 「PRG001」
      - PRG001.PGI ←（管理情報）
      - MOV001.MOD ←（動画ファイル）
      - MOV001.MOI ←（管理情報）
      - ⋮
    - 「PRG002」
    - 「PRG003」
    - ⋮
  - 「EXTMOV」
    - DEM_0000.MPG ←（動画デモファイル）
      ※動画デモファイルが入っていない場合もあります。
    - MOV_0001.MOD
    - MOV_0002.MOD
    - MOV_0003.MOD ←（管理情報が壊れた動画ファイル）
  - 「PRIVATE」 （管理情報）
  - 「MISC」
    - AUTPRINT.MRK ←（DPOF管理情報）

## ■管理情報が壊れた動画や動画デモを見るとき

➡メニューの「MPGファイル再生」で見ることができます

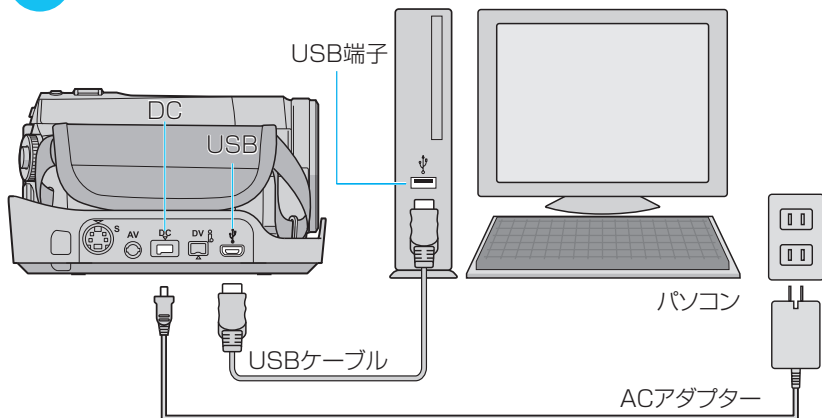
# Macintosh 1 パソコンでこのようなことができます

## 動作環境を確認する

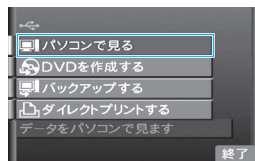
■次の条件を満たすMacintoshに、
ファイル（動画や静止画）を保存できます

端子　：標準装備のUSB 2.0端子
OS　：Mac OS X 10.3.9
　　　Mac OS X 10.4.2～10.4.10

## ファイルをパソコンに保存する

準備　●電源：「切」

### 1 USBケーブルでパソコンに接続する

### 2 本機で「パソコンで見る」を選び、OKをタッチする

●デスクトップなどに、本機のHDDやmicroSDカードが表示される。
●パソコンの設定によっては、iPhotoなどのソフトウェアが自動的に表示される。

動画や静止画を撮影した後は、パソコンに接続するとアップル社のソフトなどで楽しむことができます。

## 3 動画や静止画を読み込む

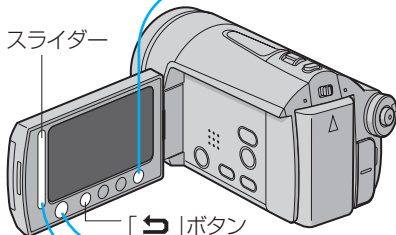
- 動画を読み込むとき
  - ➡iMovie '08を使う
- 静止画を読み込むとき
  - ➡iPhotoを使う
  - ➡または「DCIM」フォルダをコピーする(P.65)

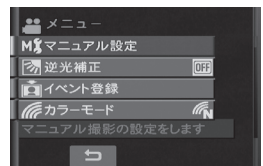
## 4 デスクトップにある本機のHDDやmicroSDカードのアイコンを、ゴミ箱にドラッグする

- または、Finderウインドウのサイドバーで、本機のHDDやmicroSDカードのイジェクトアイコン(⏏)をクリックする。

## 5 USBケーブルを抜く

■iMovie '08で動画を編集!

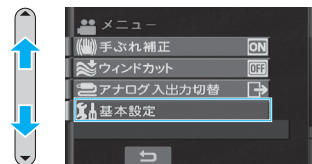
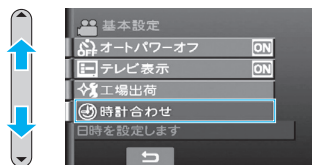
■iPhotoで静止画を活用!

お知らせ

- iMovie '08より前のバージョン(iMovie HD 6など)は、エブリオからの動画の読み込みに対応していません。
- iMovieおよびiPhotoの動作環境や使いかたなどについては、アップル社のホームページでご確認ください。

# 時計を合わせ直す

海外旅行の際には、本機の時計を現地時刻に合わせてください。

（画面は🎥モードのとき）

## 1 メニューを表示する

## 2 スライダーで「基本設定」を選び、OK をタッチする

## 3 「時計合わせ」を選び、OK をタッチする

## 4 年を合わせ、OK をタッチする

■設定を中止するとき
➡ メニュー をタッチする

■一つ前の画面に戻るとき
➡「↩」をタッチする

お知らせ

- 日付の配列（年.月.日の順序）や時間の表示（12時間または24時間）は、メニューの「基本設定」の「日付表示配列」で変更できます。
- 日付や時刻の表示／非表示を、メニューの「基本設定」の「テレビ表示」で設定できます。

## 5 月を合わせ、OKをタッチする

## 6 日を合わせ、OKをタッチする

## 7 時を合わせ、OKをタッチする

## 8 分を合わせ、OKをタッチする

## 9  設定を終了する

# 故障かな!?と思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。不具合があるときは…

→①まず、以下の表にしたがって対応する。

→②それでも解決しないときは、本機をリセットする。(P.71)

→③それでも不具合があるときは、電源(バッテリーとACアダプター)を取りはずし、お買い上げ店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。

| | こんなときは | ここを確かめてください |
| --- | --- | --- |
| カード | microSDカードが入らない | ●microSDカードの向きを確認する。(P.24) |
| 電源 | 電源が入らない | ●ACアダプターを正しく接続する。<br>●バッテリーを充電する。 |
| 電源 | 画面を閉じると電源/充電ランプが点滅する | ●メニューの「基本設定」の「高速起動」が「入」になっていることを示しています。<br>●バッテリーの充電中を示しています。 |
| 電源 | 低温メッセージを表示したあと、暖めていると電源が切れる | ●低温から暖まったときは、HDDの動作確認のために、いったん電源が切れることがあります。 |
| 撮影中 | 勝手に撮影が停止した | ●本機の温度が上がると、画面の「REC」が点滅し、そのまま上がり続けると、HDDの保護のため自動で停止します。<br>●大音量の場所、振動する場所から移動する。(本機を振動させると、HDDを保護するために停止することがあります。) |

## ■本機をリセットするには

①電源を切る。(画面を閉じる)
②本機からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる。

**撮影中**

| こんなときは | ここを確かめてください |
|---|---|
| デジタルズームできない | ●メニューの「ズーム倍率」を「40倍」または「200倍」にする。 |
| 撮影できない | ●電源を入れる。<br>●切換ボタンで「撮影」にする。 |
| 自動でピントが合わない | ●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。<br>●メニューの「マニュアル設定」の「フォーカス」を「オート」にする。<br>●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、手動でピントを合わせる。 |
| 被写体が暗い | ●シーンダイヤルの「ナイトアイ」やメニューの「フラッシュ」「逆光補正」を使う。<br>●動画では、メニューの「感度アップ」を「入」にする。<br>●静止画では、メニューの「ISO 感度」を「オート」または「1000」などにする。<br>●屋内/屋外モードを「屋内モード(NDフィルター:なし)」にする。<br>●メニューの「マニュアル設定」の「明るさ補正」を「+」側に設定する。 |
| 被写体が明るい | ●メニューの「逆光補正」を「切」にする。<br>●メニューの「マニュアル設定」の「明るさ補正」を「−」側に設定する。<br>●「屋内/屋外モード」を「屋外モード」にする。 |
| 日時表示がでない |  ● OK ボタン(表示ボタン)をタッチする。 |

# 故障かな!?と思ったら…

| | こんなときは | ここを確かめてください |
|---|---|---|
| 撮影中 | 被写体の色がおかしい | ●自然な色合いになるまで、しばらく待つ。（ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。）<br>●照明や背後にいろいろな光源があるときは、「マニュアル設定」の「ホワイトバランス」の「ワンタッチ」で調節する。 |
| | 映像に明るい縦の帯がでる | ●極端に強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより帯がでることがあります。故障ではありません。 |
| | 静止画の連写速度が遅い | ●連写を続けると、連写速度が低下します。<br>●使用するmicroSDカードや撮影条件によって、連写速度が低下します。 |
| | ホワイトバランスを設定できない |  ●メニューの「マニュアル設定」の「エフェクト」で「セピア」「白黒」を使わない。<br>●プログラムAEの「夜景モード」を使わない。 |
| | 機能が働かない | ●機能を示すアイコンの表示を確認する。<br>●アイコンが点滅または消えているときは、同時に使えない機能を選んでいるので、どちらかの機能を使うのをやめる。 |
| 画面 | 画面が暗い、または白くなる | ●画面の角度や明るさを調節する。<br>●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。<br>●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。 |

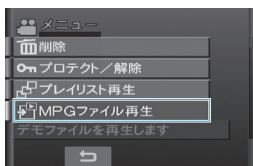
## ■次の場合は故障ではありません。

- ●太陽光が映ると、液晶画面が一瞬赤か黒になる。
- ●液晶画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。（液晶画面には99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の小さな点がでることがあります）

| | こんなときは | ここを確かめてください |
|---|---|---|
| 画面 | バッテリー残量が正しく表示されない | ●バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。<br>●高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがある。 |
| 画面 | アイコン表示が点滅または消える |  ●同時に使えない機能を選んでいるので、どちらかの機能を使うのをやめる。 |
| 画面 | 画面が見にくい |  ●直射日光下など周囲が明るいと見にくくなります。 |
| 画面 | 画面の表示にムラがでる |  ●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。（圧迫すると映像ムラが生じます） |
| 画面 | 画面が表示されない | ●本機を操作する。（ACアダプター使用時、何も操作せずに一定時間が過ぎると、スリープモードになり、画面が消えます。） |
| 再生中 | 同じ映像が長く止まって見える<br>映像がカクカクした動きに見える |  ●microSDカードを交換する。（microSDカードに傷などが付くと、データが読み取りにくくなり、この状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。）<br>●クリーンアップやフォーマットを実行する。 |
| 再生中 | 雑音が聞こえる | ●撮影中に本機を急に動かさない。（撮影中に本機を急に動かすと、HDDの駆動音が記録されることがあります。） |

# 故障かな!?と思ったら…

| | こんなときは | ここを確かめてください |
|---|---|---|
| 再生中 | 撮影したはずの動画がない | ●メニューの「MPGファイル再生」を選び、MPG画面で動画を探す。（管理情報が壊れた動画ファイルなどを再生できます。）<br><br> |
| 再生中 | テレビに縦長の画像が映る<br> | ●メニューの「基本設定」の「接続テレビ選択」を「4:3TV」に設定する。 |
| 再生中 | テレビに表示される画像が小さい<br> | ●メニューの「基本設定」の「接続テレビ選択」を「16:9TV」に設定する。 |
| 再生中 | 音や映像が途切れる<br> | ●シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。 |
|  その他 | 通信時エラー表示がでる | ●USBケーブルを正しく接続する。<br>●USBハブを使わずに、プリンターに直接接続する。 |

| | こんなときは | ここを確かめてください |
|---|---|---|
| その他 | 動画モードと静止画モードの切り替えや電源の入/切などが遅い | ●本機のファイルをパソコンへコピーし、本機から削除する。<br>（静止画などが多数（約 1,000 ファイル以上）あると、処理に時間がかかります。） |
| | スライダーやファンクションボタンがきかない | ●手袋などをはずす。<br>●指で触れて操作する。<br>（爪やペン先などでは操作できません。） |
| | 充電中、ランプが点滅しない | ●バッテリー残量を確認する。<br>（バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。）<br>●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。<br>（範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。） |
| | リモコンがきかない | ●電池を交換する。<br>●野外や強い光が当たるところでは動作しないことがあります。<br>●メニューの「基本設定」の「リモコン」を「入」にする。 |
| | DVD 作成メニューに入ったときメニューから抜けられない | ● DVD ライターの AC アダプターを取りはずす。 |
| | 本機が熱くなる | ●故障ではありません。 |

# こんな表示がでたら…

| こんな表示 | ここを確かめてください |
| --- | --- |
| レンズカバーを確認してください | ●レンズカバーを開ける。 |
| 時計を合わせてください | ●時計を設定する。<br>（設定しても表示が消えないときは、時計用電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。） |
| 通信エラー | ●バッテリーをもう一度付け直す。 |
| フォーマットされていません | ●「OK」を選び、「フォーマットしますか?」の画面で「はい」を選ぶ。 |
| フォーマットエラー | ●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。 |
| 正常に記録できない可能性があります | ●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。 |
| 正常に再生できませんでした | ●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。 |
| HDDエラー<br>カードエラー | ●クリーンアップやフォーマットを実行する。 |
| 記録を中止しました | ●本機に振動や衝撃を与えないように撮影する。<br>●メニューの「動画メディア設定」で「SD」を選ぶ。 |
| 記録できませんでした | ●（HDDなら）クリーンアップする。<br>●振動や衝撃を与えないようにする。 |

| こんな表示 | ここを確かめてください |
| --- | --- |
| 動画管理ファイルが壊れているため修復します | ●「OK」を選んで修復する。 |
| 未対応のファイルです | ●対応する形式のファイルを使う。 |
| プロテクトがかかっています | ●メニューの「プロテクト/解除」で解除する。 |
| 空き容量がありません | ●ファイルを削除する。パソコンなどに移す。<br>●新しいmicroSDカードに交換する。 |
| フォルダ数が制限を超えています | ●パソコンなどにファイルまたはフォルダを移し、本機のHDDまたはmicroSDカードをフォーマットする。<br>（メニューの「基本設定」の「HDDフォーマット」または「SDフォーマット」で、「ファイル+管理番号」を選びます。） |
| 記録できる管理番号（フォルダ・ファイル数）の上限に達しました | |
| ファイル数の制限を超えています | |
| プレイリスト数の制限を超えたため中断しました | ●プレイリストに登録する動画を99ファイル以下にする。 |
| イベント登録されたファイルがありません | ●イベントを設定する。 |

# こんな表示がでたら…

| こんな表示 | ここを確かめてください |
| --- | --- |
| プレイリストに登録されているシーンが存在しません | ●プレイリストを削除し、作り直す。 |
| プリンターエラー | ●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。 |
| どちらかのAVコードを抜いてください | ●本機からAVコードを抜く。 |
| コピーガードがかかっています | ●コピーガードのない映像を入力する。 |
| 電源が入っていないか、または未対応のUSB機器です | ●接続したUSB機器の電源を入れる。<br>●DVDライターにACアダプターを接続する。 |
| 使用済みのディスクです | ●DVDライターのディスクを入れ替える。<br>（DVD-RWディスクは、初期化できます。） |
| 初期化に失敗しました | ●DVDライターのディスクを入れ替える。 |
| ファイナライズ失敗しました | ●DVDライターのディスクを入れ替える。 |

# 付属ソフトで困ったときは…

付属のソフト（P.58）の操作などで困ったときは、下記へお問い合わせください。
（パソコン本体の操作がわからないときは、パソコンの取扱説明書をご覧ください）

## 「CyberLink DVD Solution」のお問い合わせ先

### サイバーリンク株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川5-6-27
ファーニスビル5階

■ご連絡いただきたい内容

- 登録されたCD-key
  「JH9932669l1K4595」
- パソコン（Windows）のOSバージョン
  例：Windows XP
- 問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号：0570-080-110
（ナビダイヤルが使用できない場合）
03-3516-9555

受付時間：月～金
10：00～13：00／
14：00～17：00
（祝日、弊社指定の休業日を除く）

インターネットでの問い合わせ

http://jp.cyberlink.com/support/

●ご質問いただく前に、サポートページの「よくあるご質問とその答え」をご覧ください。

## 「フォト・ナビゲーター」のお問い合わせ先

### 日本ビクター株式会社

DVご相談窓口

■ご連絡いただきたい内容

- パソコン（Windows）のOSバージョン
  例：Windows XP
- 問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号：045-450-2770

インターネットでの問い合わせ

http://www.victor.co.jp/

●ご質問の内容によっては回答までにお時間がかかることがありますので、あらかじめご了承ください。なお弊社では、お使いのパソコンについての基本的な操作方法、OS、ほかのアプリケーション、ドライバの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。

●ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて（P.86）

■対応ドライブの確認方法

http://jp.cyberlink.com/multi/program/page/_page_display.jsp?seqno=3729

# 仕様

| 一般 | |
|---|---|
| 電源 | ACアダプター使用時　:DC11V<br>バッテリー使用時　:DC7.2V |
| 消費電力 | GZ-MG740/730　:3.6W(モニターバックライト「標準」の場合)<br>GZ-MG530　:3.4W(モニターバックライト「標準」の場合) |
| 外形寸法(mm) | 68×69×119(幅×高さ×奥行き:グリップベルトを含まず) |
| 質量 | 本体　:約335g(グリップベルトを含む)<br>撮影時:約380g(バッテリーBN-VF808、グリップベルトを含む) |
| 動作環境 | 許容動作温度:0℃～40℃、許容保存温度:－20℃～50℃<br>許容相対湿度:35%～80% |

| カメラ部・液晶部 | | |
|---|---|---|
| 映像素子 | GZ-MG740/730 | 1/2.5型738万画素<br>撮像エリア:542万画素(動画)、716万画素(静止画) |
| | GZ-MG530 | 1/2.5型537万画素<br>撮像エリア:398万画素(動画)、504万画素(静止画) |
| レンズ | GZ-MG740/730 | F3.5、f=6.3mm～63mm<br>(35mmカメラ換算　動画　44mm～440mm<br>静止画 38mm～380mm) |
| | GZ-MG530 | F3.5、f=6.3mm～63mm<br>(35mmカメラ換算　動画　43mm～430mm<br>静止画 38mm～380mm) |
| フィルター径 | 43mm(ネジピッチ0.75mm) | |
| 最低照度 | GZ-MG740/730 | 18ルクス(シャッタースピード:1/60)<br>1ルクス(ナイトアイモード、シャッタースピード:1/2～1/250) |
| | GZ-MG530 | 15ルクス(シャッタースピード:1/60)<br>1ルクス(ナイトアイモード、シャッタースピード:1/2～1/500) |
| 液晶画面 | 2.7型、11.2万画素、アモルファスカラー液晶 | |
| フラッシュ | 推奨撮影距離:2m以内 | |
| ズーム | 動画撮影時　:光学ズーム10倍まで、デジタルズーム200倍まで<br>静止画撮影時:光学ズーム10倍まで　再生ズーム5倍まで | |

*再生ズームにはリモコンを使います。(動画:一時停止中、静止画:静止時)

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

## 内蔵ハードディスク部

| | | |
|---|---|---|
| 容量 | GZ-MG740 | 40GB |
| | GZ-MG730/530 | 30GB |

## 端子部

| | |
|---|---|
| AV端子 | 映像：アナログ入力/出力<br>音声：ステレオ、アナログ入力/出力 |
| USB端子 | ミニUSB-ABタイプ、USB 2.0 |

## 時計用電池

| | |
|---|---|
| 種類 | 二次電池（内蔵充電式） |

## リモコン（RM-V751）

| | |
|---|---|
| 種類 | DC3V（ボタン電池 CR2025） |
| 電池寿命 | 約1年（使用頻度により変わる） |
| 動作距離 | 約5m（正面軸上） |
| 許容動作温度 | 0℃～40℃ |
| 外形寸法（mm） | 42×14.5×91（幅×高さ×奥行き） |
| 質量 | 約30g（ボタン電池を含む） |

## エブリオドック

| | |
|---|---|
| S端子 | S映像：アナログ入力/出力 |
| AV端子 | 映像：アナログ入力/出力<br>音声：ステレオ、アナログ入力/出力 |
| DV端子 | 4ピン（i.LINK/IEEE1394準拠）出力 |
| USB端子 | ミニUSB-ABタイプ、USB 2.0 |

## 静止画

| | |
|---|---|
| 記録方式 | JPEG準拠 |
| 拡張子 | .JPG |
| 画像サイズ | (P.82) |
| 画質 | ファイン/スタンダード |
| 記録メディア | ハードディスク（内蔵）、microSDカード（市販） |

## 動画

| | | |
|---|---|---|
| 録画/再生方式 | SD-VIDEO 規格準拠 MPEG-2（映像）、Dolby Digital（音声） | |
| 拡張子 | .MOD | |
| 信号方式 | NTSC 日米標準信号方式 | |
| 画質・音質 | ウルトラファイン | 720ピクセル×480ピクセル、8.5Mbps VBR（映像）、48kHz、384kbps（音声） |
| | ファイン | 720ピクセル×480ピクセル、5.5Mbps VBR（映像）、48kHz、384kbps（音声） |
| | ノーマル | 720ピクセル×480ピクセル、4.2Mbps VBR（映像）、48kHz、256kbps（音声） |
| | エコノミー | 352ピクセル×240ピクセル、1.5Mbps VBR（映像）、48kHz、128kbps（音声） |
| 記録メディア | ハードディスク（内蔵）、microSDカード（市販） | |

# 仕様

## 動画の撮影可能時間の目安(単位:分)

| | HDD | | microSDカード |
|---|---|---|---|
| 画質 | GZ-MG740 | GZ-MG730/530 | 4GB |
| ウルトラファイン | 9時間30分 | 7時間10分 | 57分 |
| ファイン | 14時間10分 | 10時間40分 | 1時間25分 |
| ノーマル | 18時間50分 | 14時間10分 | 1時間53分 |
| エコノミー | 50時間 | 37時間30分 | 4時間58分 |

## 静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)

| | | | microSDカード | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画面 | 画像サイズ | 画質モード | 256MB | 512MB | 1GB | 2GB | 4GB |
| 16:9 | 3072×1728(*1) | ファイン | 100 | 205 | 410 | 825 | 1630 |
| | | スタンダード | 160 | 320 | 645 | 1295 | 2545 |
| | 2592×1456 | ファイン | 140 | 285 | 575 | 1150 | 2265 |
| | | スタンダード | 220 | 450 | 905 | 1825 | 3595 |
| | 1920×1080 | ファイン | 255 | 520 | 1045 | 2070 | 4075 |
| | | スタンダード | 400 | 805 | 1620 | 3270 | 6440 |
| | 1280×720 | ファイン | 560 | 1135 | 2285 | 4440 | 8740 |
| | | スタンダード | 845 | 1700 | 3425 | 6910 | 9999 |
| 4:3 | 3072×2304(*1) | ファイン | 75 | 155 | 310 | 625 | 1235 |
| | | スタンダード | 115 | 230 | 465 | 940 | 1850 |
| | 2592×1944 | ファイン | 110 | 220 | 445 | 900 | 1770 |
| | | スタンダード | 170 | 345 | 700 | 1410 | 2780 |
| | 2304×1728(*2) | ファイン | 135 | 270 | 550 | 1110 | 2185 |
| | | スタンダード | 210 | 425 | 855 | 1725 | 3395 |
| | 1600×1200 | ファイン | 275 | 555 | 1120 | 2220 | 4370 |
| | | スタンダード | 460 | 930 | 1865 | 3655 | 7195 |
| | 640×480 | ファイン | 1520 | 3070 | 6170 | 9999 | 9999 |
| | | スタンダード | 2170 | 4390 | 8810 | 9999 | 9999 |

*1:GZ-MG740/730のみ
*2:GZ-MG530のみ
*HDDには(画像サイズや画質などに関わらず)9999枚まで撮影できます。

| ACアダプター(AP-V14) | |
|---|---|
| 電源 | AC 100V—240V、50Hz/60Hz |
| 出力 | DC 11V、1A |
| 許容動作温度 | 0℃~40℃（充電時は10℃~35℃） |
| 外形寸法(mm) | 50×27×71（幅×高さ×奥行き）（コードとACプラグを含まず） |
| 質量 | 約100g |

| バッテリー(BN-VF808) | |
|---|---|
| 電圧 | DC 7.2V |
| 容量 | 730mAh |
| 外形寸法(mm) | 30.5×18×52（幅×高さ×奥行き） |
| 質量 | 約45g |

## 撮影時間の目安（バッテリー使用時）

| バッテリー | GZ-MG740/730 | | GZ-MG530 | |
|---|---|---|---|---|
| | 実撮影時間 | 連続撮影時間 | 実撮影時間 | 連続撮影時間 |
| BN-VF808 | 40分 | 1時間20分 | 45分 | 1時間25分 |
| BN-VF815 | 1時間25分 | 2時間45分 | 1時間30分 | 2時間55分 |
| BN-VF823 | 2時間5分 | 4時間5分 | 2時間10分 | 4時間20分 |
| VU-V840KIT | 3時間45分 | 7時間25分 | 3時間55分 | 7時間50分 |
| VU-V856KIT | 5時間15分 | 10時間30分 | 5時間35分 | 11時間10分 |

※モニターバックライト「標準」のときの値です。
＊実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。（撮影予定時間の約3倍分を用意することをおすすめします）
＊充分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。（新しいものに交換してください）

### ■静止画を適切な明るさで撮影するには

再生中に「インフォ」ボタンを2度押し、ヒストグラムを表示する
➡絞り・シャッター速度・明るさを調節し、グラフの山が途切れないようにして撮影し直す

撮影時の情報

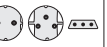
ヒストグラム
・縦軸：画素数
・横軸：明るさ

右端で途切れている：明るすぎる（白とび）

左端で途切れている：暗すぎる（黒つぶれ）

# 日常のお手入れ

●お手入れの前に、バッテリーやACアダプター、電源プラグをはずしてください。

| | |
|---|---|
| 本体 | ●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。<br>●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。<br><ご注意><br>・ベンジンやシンナーは使わない。（損傷や故障の原因）<br>・化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。<br>・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。 |
| レンズ・液晶画面 | ●市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。<br>（汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因） |

# 海外で使うときは

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。
ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

## ■訪問国や地域に合った変換プラグをご用意ください

| コンセントの形状（主な使用国） | （北米・南米など） | （オーストラリア） | （ヨーロッパ） | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用する変換プラグ | 必要ありません | | | | |

## ■次の訪問国や地域では、現地のテレビでも再生することができます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」（P.39）をご覧ください。

- アメリカ合衆国
- 韓国
- コスタリカ
- トリニダード・トバコ
- バハマ
- フィリピン
- ペルー
- ミクロネシア
- エクアドル
- キューバ
- コロンビア
- ドミニカ
- バミューダ
- プエルトリコ
- ホンジュラス
- ミャンマー
- エルサルバドル
- グァテマラ
- スリナム
- ニカラグア
- バルバドス
- 米領サモア
- ボリビア
- チリ
- カナダ
- グアム
- 台湾
- ハイチ
- パナマ
- ベネズエラ
- メキシコ

# さくいん

## 英字



## あ行



## か行



## さ行



## た行



## は行



## ま行



## ら行

# 保証とアフターサービス

## 修理を依頼される場合(持込修理)

「故障かな?!と思ったら…」(P.70)にしたがって、まずご確認を。

ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーとACアダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

本機や付属品、microSDカードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

**ご連絡いただきたい内容**

1. 品名:ハードディスクムービー
2. 型名:表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

**■保証期間中は**

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

**■保証期間が過ぎているときは**

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理の際は、取扱説明書のP.87をコピーしたものに、必要事項をご記入の上、本機に添付してください。

## 保証書(別添付)

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

## 性能部品の最低保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

**●ご不明な点や修理に関するご相談は…**

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口案内」(別紙)にご相談ください。

**ご相談窓口における個人情報のお取り扱い**

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

# 同意書

## データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

お預かりした商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いします。しかし、修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってHDD（ハードディスク）の初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。そのため、事前にバックアップしておかれることをおすすめします。

■商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
■万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
■品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに ✓ マークをお願いします。
□同意する　□同意しない

日付：　　年　　月　　日

ご署名：

修理や点検を依頼されるときは、この同意書のコピーにご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

## 製品についてのご相談・修理のご依頼

まず、お買い上げの販売店にご相談ください

### 転居されたり、贈答品などでお困りの場合は…

#### 修理に関するご相談

**ビクターサービスエンジニアリング株式会社**

●別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください

#### 技術的なご相談

**DVご相談窓口**

**電話：(045) 450-2770**

#### お買い物情報や全般的なご相談

**お客様ご相談センター**

**0120-2828-17**

●携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話：(045) 450-8950
FAX：(045) 450-2275

〒221-8528
横浜市神奈川区守屋町3-12

**愛情点検** ●長年お使いのムービーの点検をぜひ!

| このような症状はありませんか | ●再生しても映像や音声がでない<br>●異常な臭いや音がする<br>●水や異物が入った<br>●その他の異常や故障がある |
|---|---|

| ご使用を中　止 | 故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください |
|---|---|

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

**日本ビクター株式会社**

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12



M8E8 1207MKH-HT-VM